

弦泳

第 39 号

関西学院大学体育会

水上競技部部誌

はじめに

関西学院大学水上競技部競泳パートは、昨シーズン、「関西学生選手権男子総合 2 位奪還、ベスト率 80%、女子ベスト率 80%」「日本学生選手権男女総合得点 20 点獲得、ベスト率 100%」という目標を掲げました。関西学生選手権では、男子が総合 2 位奪還を達成。男女ともにベスト率 80%には届かなかったものの、チームとして大きな成長を見せました。日本学生選手権では、個人種目での B 決勝以上への進出はなかったものの、男子 4×200m フリーリレーでは、1 泳を泳いだ 2 年生の出羽がベストタイムという好記録でチームに勢いをつけ、2 泳の 1 年生田中秀、3 泳の 3 年生中谷が勢いをつなぐ泳ぎを見せました。アンカーを務めた自由形エースでラストイヤーの清水が粘り強い泳ぎを見せ、B 決勝進出を果たしました。

B 決勝では、ベスト更新者はいなかったものの、チーム全員が最後まで前向きにレースに臨みました。

各泳者が自分の役割を果たし、仲間を信じて泳ぐ姿からは、チームとしての一体感と成長が感じられました。

レース後は、悔しさの中にも達成感があり、4 回生を中心にチーム全体で大会を楽しむ雰囲気が生まれていました。

結果以上に、仲間と共に全力を出し切ったことが大きな収穫となり、来年度へ向けて新たな一歩を踏み出す大会となりました。

今シーズンは「超煌（ちょうこう）」という目標を掲げ、これまでも超え、一人ひとりが輝くチームを目指します。丸山碧斗新主将の下、チーム一人ひとりが役割を果たしながら、競技力の向上とチーム力の強化に努めてまいります。今夏は KGUST 全員が力を合わせ、それぞれの持ち味を発揮する姿をお見せできるよう精一杯取り組みます。

水球パートは、強力な新入生の活躍もあり、12 年ぶりに全日本インカレの舞台に出場することができました。しかし、そこまでの道のりは簡単ではなく、新チームになりたての時は思うようにはいかず、苦しい時期が続きました。その状況の打開策として徹底的に基礎練習に取り組み、それもあってか、関カレでは 3 位に入り全日本インカレに出場し、兼ねてからの目標を達成することができました。

来年度の水球パートは関西制覇を目標に、引き続き気持ちを切らさず練習に励んで行きます。応援のほどよろしくお願いします。

さて、『弦泳第 39 号』をお届けいたします。水上競技部の活動や様子がお伝え出来ればと思います。また、至らない点も多々あるとは存じますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。OB・OG の諸先輩方をはじめ、多くの皆様に楽しんで読んで頂けますようお願いしております。

目次

I. ご挨拶・総括・抱負

ご挨拶

弦泳会会長	田口 明宏	4
水上競技部部長	岡田 太志	5
水上競技部競泳パート監督	清水 健次郎	7
水上競技部水球パート監督	田中 洋佑	8
競泳前主将	清水 歩空	9
水球前主将	和田 涼一郎	10

抱負

競泳主将	丸山 碧斗	11
------	-------	----

II. 現役活動報告

<競泳>

1. 第 32 回関西学生春季短水路公認記録会	13
2. 第 93 回兵庫県選手権水泳競技大会	15
3. 2025 年度大阪府選手権水泳競技大会	18
4. 第 13 回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会	20
5. 第 99 回関西学生選手権水泳競技大会	24
6. 第 13 回関西学生夏季長水路公認記録会	29
7. 第 101 回日本学生選手権水泳競技大会	31

<水球>

1. 関西学生選手権水球競技大会	34
2. 全日本学生選手権水球競技大会	36

<飛込>

1. 第 101 回日本学生選手権水泳競技大会 飛込競技	38
------------------------------	----

III. 現役部員紹介

1. 4 年間を振り返って	42
2. 部員名鑑	65

IV. 付録

1. 2025 年度水上競技部会計報告	73
2. 歴代 10 傑表	74

編集後記	85
------	----

I. ご挨拶・総括・抱負

ご挨拶



弦泳会会長 田口明宏

弦泳会会員の皆様、平素は水上競技部並びに弦泳会の活動に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

関西学院大学水上競技部の普遍的なチームの目標は「競技力の向上と人間的成長」、チームモットーは「Zeal in Holy Stroke」です。そして毎年新幹部による精神目標と競技目標が発表されます。この目標のもと現役部員が一つにまとまり、かつ、モチベーションを持ち続ける素晴らしいものとなっております。

今年は、競泳・水球・飛込とも日本学生選手権に出場することができました。全国の壁はまだ高く、ベスト更新に伸び悩んだ大会でしたが、今後監督・コーチ・トレーナー・現役選手が一体となって取り組み、近い将来シード校入りの希望も見えてくる大会になりました。競泳清水健次郎監督と水球田中洋佑監督のもと選手一人ひとりが飛躍されることを心強く期待しております。

2006年4月より水上競技部部長として、20年間現役をご指導いただきました岡田太志部長が2026年3月をもちましてご退任されます。その間、関西制覇や早関戦100周年記念大会、KGAD加入など数々の大任を果たされました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、現役のみなさんにキックオフミーティングなどでいつもお話ししていることは、Mastery for Serviceのスタートである「他者への関心」をもっと意識することによって、チーム力が向上し一体感が生まれ、日々の練習がより充実したものとなるということです。それをぜひ実感していただきたいと心より願っております。

2026年の日本学生選手権は大阪で開催されます。ぜひ多くの弦泳会会員のOBOGの皆様、現役選手の素晴らしい泳ぎを見に来てください。そして監督・コーチ・トレーナーの方への激励と感謝をさせて頂きたいと思います。弦泳会も今まで以上に現役ファーストの体制で臨んでまいりたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ご挨拶

水上競技部長 岡田太志

創部 107 年となる今年の活動も、幹部学年である 4 年生を中心に誇るべき戦績を遺すことができました。競泳パート水球パート共に、関西学院を改めて覚え、学院に連なるわれわれに感動を与えてくれる内容と学びであり、われわれの誇りとなりました。これは、現役生の取り組み、競泳パート清水監督、水球パート田中監督以下指導者の皆様方の献身的なご指導に加え、何よりも弦泳会田口明宏会長はじめ弦泳会会員の皆様方による日頃からの陰に陽にわかるご支援とご尽力の賜物であり、改めて深く感謝申し上げる次第です。誠にありがとうございました。

個々の現役部員の皆さんにとって、この 1 年の活動は、どのようなものだったのかといつも思いを馳せているところです。特に幹部としての 4 年生は、部としても個としても、「本当に大切なものは何か、部はいかにあるべきか」を否応なく考えさせられ、多くの「気づき」が与えられ考える機会になったに違いないと思うところです。長い歴史を誇る水上競技部は関学体育会 42 部の模範として体育会を代表する部のひとつであり、そうした活動をされている現役部員の皆さんは、水上競技部での「気づき」と「学び」をさらなる「成長」への糧とされ、社会人として活躍されていかれるに違いないと確信とともに祈念するところです。

2019 年度に始まった「Academic Eligibility for KG athletes（関西学院大学体育会員に関する対外試合出場のための資格制度）」、続いて、2021 年に設立された「KGAD（Kwansei Gakuin University Athletic Department、関西学院大学競技スポーツ局）」に象徴される通り、関西学院大学体育会は、一大改革の真ただ中にあります。それは明治以降 100 年を超える大学スポーツ、アマチュアスポーツについて、そのあり方が社会的にも厳しく問われる時代にあって、関西学院大学が考える大学スポーツのあり方、関学モデル（KG モデル）を示そうとする挑戦です。まだ暫くは、生みの苦しみや運営の苦しみが続くに違いないと予想しますが、種々改善もされながら、やがては、わが国大学スポーツのあり方として社会的に広く認められるまでに育っていくに違いないと期待しているところです。

わが部のモットーは"Zeal in Holy Stroke"です。水上競技部は、引き続き関学体育会のトップグループとして活動していきたいところです。そのためには、関学・体育会・水上競技部と続くモットーそれぞれの意味は何なのか、そこにはどのような想いや哲学が込められているのか。現役の皆さんは、それらを「常に問い・考え・自ら意味付け」ていく。そうした作業こそが、競技力の向上と人間的成長に繋がる大元のひとつになると信じているところです。

現役生の皆さん、神学者 Reinhold Niebuhr(1892-1971)が以下の祈りの言葉を遺しています。活動の参考までに掲載させていただきます。

God, give us grace to accept with serenity the things
that cannot be changed,

Courage to change the things which should be changed,
and the Wisdom to distinguish the one from the other.

主よ、どうしても変えることのできないものについては、それを静かに受け容れる品格（心の平和）をお与え下さい。

変えるべきことについては、それを変えていく勇気をお与え下さい。

そして変えることのできないものと変えるべきものとを見分ける叡智をお与えください。

最後となりましたが、2006年4月に井上哲浩先生（現慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）の後任として部長に就任いたしました。部のモットー"Zeal in Holy Stroke"とその含意は、部長交替にあたり、井上先生が遺され託されたものです。小職は今年度をもって定年退職となります。この間、皆様方との代えがたい貴重な思い出と共に、多くの気づきと学びを頂戴しました。なによりも常に強く支え続けていただきました。改めて弦泳会会員の皆様方のこれまでのお支えに、湧き上がる感謝をただただ申し上げる次第です。

ありがとうございました。引き続き水上競技部へのご支援とご鞭撻を賜りますよう、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。



競泳パートの振り返りと今後の体制について

競泳パート 監督 清水 健次郎

平素は水上競技部および競泳パートへのご理解とご協力を賜りまして本当にありがとうございます。
2024年4月1日より競泳パート監督に就任し、今年度で2年目を迎えました。主要な大会の結果、振り返り、今後の目標等は是非各ページをご参照ください。

今年度の関西学生選手権男子総合成績は昨年度3位から2位に上げたものの、日本学生選手権では4×200mフリーリレーのB決勝8位の2点のみの総合成績23位でした。昨年度も申し上げましたが、全国の舞台ではやはり全く勝負させてもらえていないという現状です。女子は関西学生選手権2部チームの中でも圧倒的に少人数構成ながら、元選手のマネージャーがリレー出場等の全員水泳で臨み、あと一歩で1部昇格の3位と大健闘してくれました。

今後は科学的根拠に基づいたスイムトレーニング、ドライランド、ウエイト等の陸上トレーニング、睡眠、栄養、レースへの心構え、あらゆる周辺知識、そして人間力と多方面からのアプローチと改善が必要です。

またスタートやターン、アンダーウォーター、浮き上がり等、基礎的な動きを日々の練習で、常にレースを想定していかに姿勢を保持し、抵抗を減らしながら身体に染み込ませるかが重要です。加えてキックの強化により高ボディポジションのさらなる低抵抗かつ、推進方向へ効果的にストロークすることにより理想的なスイムに繋がり、レースに生きてきます。それらを選手自ら考えてしっかりと落とし込めるように最大限のサポートを行います。

来年度へ向けてはご尽力いただいているトレーナー陣を始め、コーチも増員し、学生主体の伝統としても多方面からのアプローチを選手自ら考え自ら行動しながら引き出しを増やすべく、様々な役割を担ってもらおう新体制になりました。

4年後には日本学生選手権シード校へ、それ以降はシード常連校になることを現実的に目指しています。OBOGの皆様におかれましては、是非プールや試合会場にお越しいただきて更なるご支援ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いいたします。



2025 シーズン総括

水球パート監督 田中洋佑

平素は現役学生へのご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。水球パートは、2024年度からK GADに加盟し、スクールモットー「Mastery for service」の体現のための活動にさらに尽力しているところです。

2025年シーズンは前年わずかに届かなかったインカレ出場を達成するため、あくまで目標を「関西制覇」として昨年よりも高く定めました。

関西学生リーグでは、今年も猛暑の京大プールで開催され、びわスポ、龍谷と接戦をしましたが、惜しくも敗戦に終わりました。特に決勝リーグのびわスポ戦は3ピリ目終えて5点差つけてリードしたものの、逆転負けを喫してしまいました。勝ちを意識して守りに入ってしまった結果、その守りも機能せず自分たちのペースを崩してしまいました。チームを勝ちに導けなかったのは監督の責任です。

結果としては関西3位と目標に届かなかったものの、今年は中国四国地方の出場校がなかったため、12年ぶりのインカレ出場を果たすことができました。思いもよらぬ形であれ、私が10年以上目指してきたインカレ出場を果たすことができたのは素直に嬉しいことです。しかし、インカレでは慶應大にコールド負けとなりました。インカレでは関東とそれ以外の地方の大学の大変な格差を感じました。

関東とは環境面で大きなギャップがあります。そのギャップを埋めるためには、関東の大学よりも高い意識を持ち、練達を積み重ねねば、到底追いつきません。

「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む。」

関学水球は、インカレという壁をやっと乗り越えましたが、ひとつ、壁を乗り越えるとまた新たな壁（苦難）が出てくるものです。ひとつひとつ、階段を上り（忍耐、練達）、目標（希望）に向かって進んでいきたいと思います。

さらに一つ、今年の4年生について触れておきます。今年の4年生は、水球について特段秀でた力のあるメンバーがいるわけではありませんでした。しかしながら、彼らなりの人間性でコツコツと取り組み、彼ら自身の成長もですが、チームの運営もまとめていきました。4年生が団結し、彼らの人間性が優れていれば下級生もまとまり、チームは強くなり、結果が出る。改めて確信しました。

来年こそ、悲願の関西制覇を目指して、チーム一同成長してまいります。皆様には、今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。



昨シーズンを振り返って

競泳前主将 清水 歩空

KGUST2025 の競泳パートは、精神目標に「戦」ー勝つべき舞台で勝てるチームーを掲げ1年間の挑戦を続けてきました。その上で競技目標としては、関西学生選手権「男子総合2位奪還、男女ベスト率80%」、日本学生選手権「総合20点獲得、ベスト率100%」と設定し、試合だけでなく、日々の練習から勝ちにこだわり練習に打ち込んでまいりました。結果として、これらの目標全てを達成することは叶いませんでした。主将として力及ばず、チームを最高の結果に導くことができませんでした。しかし、この1年は人生で一番実りある時間となり、多くのことを学ばせていただきました。この1年の想いについてお話しさせていただければと存じます。

我々106期生は、精神目標である「戦」のもと様々な挑戦を行なってきました。水の祭典では、競技の部にリレー競技を追加し、現役、OB・OG全員が楽しめるルールを1から作りあげました。水の祭典を無事終えた時、安堵と達成感で満ち溢れていたことを覚えています。

そして、日々の練習から目標の可視化を行い、大変苦しい練習を乗り越えチームとして何倍も成長することができました。

主務の湯田平と新チームを率いる前、「最高のチーム作り」をしていこうと話合ったことを今でも覚えています。そして、1年経った今、自信を持って最高のチームになったと私は思います。後輩・同期と歩んできたこの1年はかけがえのない時間となりました。私自身は思うような結果が出ず苦しい1年でしたが、昨シーズンの経験が糧となり後輩たちが新たな道を切り開いてくれることを願っています。

最後となりましたが、清水監督、田口OB会長をはじめとするOB・OGの皆様のご支援により、日々の練習、部の運営を円滑にすることが可能となっております。この場をお借りして感謝御礼申し上げます。今後ともKGUSTのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



昨シーズンを振り返って

水球前主将 和田 涼一郎

昨シーズンは12年ぶりの日本学生選手権へ出場し、関学水球として経験、成長を踏まえて、非常に実りのある一年間であったと思います。『関西学生選手権を制覇し、日本学生選手権に出場する』という競技目標、『チーム全員が覚悟と責任を持ち、目標に向かって努力するチームである』というチーム方針を掲げ、部員全員でもがきながらも、一つになり前に進んで来られました。関西学生選手権では、想定外の事態も起こりどの試合も忘れることのない印象に残る試合ばかりでした。関学水球らしさを見せ、自分たちの水球ができましたが、結果は悔しさの残る3位でした。しかし、今年度は日本学生選手権への出場を決め、関東に対して一矢報いようと質を高めていきました。結果は関東のレベルに圧倒されてしまいましたが、今回の学生リーグを終え、我々は喜怒哀楽の沢山の感情を味わい、確実に次年度へつながる貴重な経験ができました。関西学生選手権の制覇は叶いませんでしたが、日本学生選手権への出場、チーム方針の実現は達成できました。

主将に就任して一年間、沢山の方々に支えられながらも、自分が主将でよかったのか、どのような主将になるべきか、ひたすらに悩み続けてまいりました。苦しくつらい時も多くあり、思い切った決断を何度もしてきました。しかし、私には4年間支えてくれた監督コーチの方々、同期、頼もしい後輩達、沢山のご支援、ご声援を下さいましたOB,OGの方々などたくさんの仲間がいました。この一年、改めて、あたりまえでないこの環境に感謝の気持ちと、仲間の大切さを感じました。

これから、どんどん強くたくましくなる関学水球を全力で応援できること、1OB、1水球ファンとして非常に嬉しく楽しみに思います。

最後となりましたが、OB,OGの諸先輩方並びに関係者の皆様、これまでのご支援、ご声援ありがとうございました。皆様の声援が、私たち現役の励みとなっていました。厚く御礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



「2026 年度の抱負」

競泳主将 丸山碧斗

KGUST2026 競泳パートでは、精神目標に「超煌(ちょうこう)」を掲げ、「関西学生選手権男子 2 位死守・150 点獲得、女子ベスト率 50%、日本学生選手権総合 40 点獲得・A、B 決勝 10 種目進出・ベスト率 30%」を目標に日々鍛錬に励みます。精神目標「超煌」には 2 つの意味が込められています。まず、「超」には、107 年という歴史と伝統を持つ水上競技部の、これまでの全てのチームを「超えていく」という決意を表しています。それは競技成績にとどまらず、人間性やチーム力といったあらゆる面で過去を凌駕することを意味します。そして「煌」は、火が燃え盛る様子を表す「火」と、太陽を起源とする「皇」が組み合わさった字であり、「明るく輝く」「きらめく」という意味を持ちます。その輝きは水面に反射し、まばゆい煌めきを放つ情景を想起させます。まさに競泳の舞台そのものがその「煌めき」を体現しており、選手一人ひとりが光を宿し、その光が仲間へと伝わりながら、水面を駆け抜けていく姿を象徴しています。すなわち、「超煌」には、一人ひとりが煌めき、周りを巻き込み、チームとして全てを超えていくという意味があります。そして、スクールモットーである Mastery for Service、水上競技部の Zeal in Holy Stroke を体現できる人間になるべく、揺らぐことのない人間性、高い競技力を兼ね備えた部員が集う団体として、1 年間歩を進める所存です。

私が入部してからの 3 年間、水上競技部は「六常」「Lycaon」「戦」という三つの精神目標のもとで活動してきました。それぞれの目標は、人間性、チーム力、競技力に焦点を当て、私たちを大きく成長させてくれました。そして今、これらすべてを受け継いできた私たち最高学年が先頭に立ち、大学水泳の集大成として、必ず「超煌」を体現します。

私は、高校時代も主将を務めさせていただきました。とても苦しい 1 年間でありましたが、たくさん悩み、考え、苦しみもがいた経験は私の人生の糧となり、今に繋がっていると考えます。その中で、大切にしていたことを記させていただきます。

「人の足元照らせば、自分の足元も照らされる。」

この言葉は、私が苦しい時期に何度も自分を奮い立たせてくれた言葉です。誰かのために行動しようとする時、人は自然と自分の姿勢を正し、成長していくものだと思います。仲間を支え、励まし、導こうとする過程で、自分自身もまた強く、優しくなれる。私はこの一年、チーム全体の光を広げるために、まず自らが光となり、全員の足元を照らせる存在でありたいと思います。そのために、どんな困難に直面し

ても逃げず、仲間と真正面から向き合い、一人ひとりの「煌めき」を引き出すことに全力を尽くします。部員全員が互いに光を与え合い、その輪が広がっていくとき、きっと「超煌」は現実のものとなると信じています。

最後になりましたが、清水監督を始めとする、OB・OGの方々のご支援によって、我々水上競技部は活発に活動することができております。この場をお借りして、感謝御礼申し上げます。今シーズンも部員一同、誠心誠意活動に励みます。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

Ⅱ. 現役活動報告

< 競泳パート >

1. 第 32 回 関西学生春季短水路公認記録会

開催日：2025/5/10(土)~2025/5/11(日)

会場：京都アクアリーナ

☆自己ベスト更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m 自由形	男子	小嶋虹佑	4	タ決	22.85	1	☆
		左脇弘大	2	タ決	23.63	14	
		丸山碧斗	3	タ決	23.64	15	☆
100m 自由形	男子	丸山碧斗	3	タ決	51.13	5	
		八坂康生	1	タ決	51.13	5	
		伊崎凜太郎	1	タ決	51.45	11	
200m 自由形	男子	丸山碧斗	3	タ決	1.51.06	4	
		垣内柊人	4	タ決	1.51.92	8	
		伊藤寛記	4	タ決	1.52.93	13	
		津田悠生	3	タ決	1.55.71	30	
400m 自由形	男子	垣内柊人	4	タ決	3.57.16	8	☆
		伊藤寛記	4	タ決	4.01.59	14	
		津田悠生	3	タ決	4.12.44	27	
1500m 自由形	男子	石田拓也	2	タ決	16.47.29	10	☆
100m 背泳ぎ	女子	山城夢芽	4	タ決	1.05.14	9	
100m 平泳ぎ	男子	馬場匠汰	1	タ決	1.02.67	11	
		田中廉汰朗	2	タ決	1.03.38	16	☆
		大平理登	4	タ決	1.06.38	42	☆
50m バタフライ	女子	渡瀬夢花里	4	タ決	28.62	5	
100m バタフライ	男子	辻翔太	1	タ決	54.53	8	
		武本航志	3	タ決	54.79	10	☆
200m バタフライ	男子	大平理登	4	タ決	1.59.88	5	
		鶴田健介	1	タ決	2.01.48	8	
	女子	渡瀬夢花里	4	タ決	2.13.34	1	
200m 個人メドレー	男子	左脇弘大	2	タ決	2.01.92	2	☆
		田中廉汰朗	2	タ決	2.03.43	5	☆
		八坂康生	1	タ決	2.05.25	12	☆

400m 個人メドレー	男子	重塚 笙	4	夕決	4.19.42	2	☆
	女子	高原 桜唯	2	夕決	5.02.67	7	

観戦記

辻 翔太

この大会は私にとって、大学入学後初の短水路での試合であり、短水路が得意な私が良い流れを作ろうと意気込んだ大会でした。しかし、そう簡単には上手く泳げず、目標とするタイムに届きませんでした。そのような中、先輩方は目標とする日本学生選手権を突破し、カッコいい姿を見せてくださいました。先輩方の勝負強さ、頼もしい姿に憧れを持ち、私自身、より一層水泳に対し熱意を持って、練習に励みたいと感じました。

2.第 94 回（2025 年度）兵庫県選手権水泳競技大会

開催日：2025/6/7(土)~2025/6/8（日）

会場：神戸ポートアイランドスポーツセンター

☆自己ベスト更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m 自由形	男子	左脇弘大	2	予選	24.61	15	
				B 決勝	25.12	7	
		中谷志優	3	予選	23.74	2	
				A 決勝	23.52	3	
		小嶋虹佑	4	予選	24.12	7	
				A 決勝	23.91	6	☆
100m 自由形	男子	津田悠生	3	予選	54.73	36	
		伊藤寛記	4	予選	53.21	14	
				B 決勝	53.07	4	☆
		中谷志優	3	予選	51.57	2	☆
				A 決勝	51.67	3	
		大平理登	4	予選	52.07	8	
				A 決勝	52.21	8	
		小嶋虹佑	4	予選	53.25	15	☆
				B 決勝	53.77	7	
		清水歩空	4	予選	51.96	7	
				A 決勝	51.75	6	
200m 自由形	男子	出羽晃也	2	予選	1:52.31	1	
				A 決勝	1:51.61	1	☆
		伊藤寛記	4	予選	1:57.41	20	
		清水歩空	4	予選	1:53.76	5	
				A 決勝	1:53.64	5	
		田中秀路	1	予選	1:53.88	6	
				A 決勝	1:54.69	6	
		津田悠生	3	予選	1:59.99	31	
400m 自由形	男子	石田拓也	2	予選	4:14.29	23	☆
		出羽晃也	2	予選	4:01.00	2	
				A 決勝	3:56.62	2	☆
		垣内柊人	4	予選	4:04.87	9	☆

				B 決勝	4:04.06	2	☆
		伊藤寛記	4	予選	4:10.13	14	
				B 決勝	4:07.03	4	☆
50m 背泳ぎ	男子	田中秀路	1	予選	27.11	3	☆
				A 決勝	27.00	3	☆
100m 背泳ぎ	男子	村田李々冬	3	予選	59.06	3	
				A 決勝	58.87	4	
200m 背泳ぎ	男子	村田李々冬	3	予選	2:11.28	5	
				A 決勝	2:07.26	3	
100m 平泳ぎ	男子	重塚笙	4	予選	1:03.94	2	
				A 決勝	1:02.88	1	☆
		武本航志	3	予選	1:04.25	4	
				A 決勝	1:03.79	4	☆
200m 平泳ぎ	男子	重塚笙	4	予選	2:17.62	2	
				A 決勝	2:16.22	2	
		武本航志	3	予選	2:22.29	6	
				A 決勝	2:18.81	4	☆
50m バタフライ	男子	辻翔太	1	予選	25.51	4	☆
				A 決勝	25.42	4	☆
100m バタフライ	男子	鶴田健介	1	予選	56.96	9	
				B 決勝	56.83	2	
		辻翔太	1	予選	55.96	3	☆
				A 決勝	56.24	6	
		垣内柊人	4	予選	56.66	8	☆
				A 決勝	56.59	8	☆
	女子	渡瀬夢花里	4	予選	1:02.34	6	
				A 決勝	1:02.04	5	
200m バタフライ	男子	鶴田健介	1	予選	2:04.66	4	
				A 決勝	2:04.17	4	
	女子	渡瀬夢花里	4	予選	2:19.24	4	
				A 決勝	2:16.99	4	
200m 個人メドレー	男子	左脇弘大	2	予選	2:07.78	4	☆
				A 決勝	2:10.41	8	
		大平理登	4	予選	2:08.27	6	
				A 決勝	2:05.79	4	

400m 個人メドレー	男子	左脇弘大	2	予選	4:42.16	11	☆
-------------	----	------	---	----	---------	----	---

観戦記

鶴田 健介

大学生になって初めて出場した兵庫県選手権でした。高校生の頃から憧れていた関学のジャージを着て決勝に臨んだときは、気持ちが高ぶると同時に大きな責任も感じました。関学の名に恥じないレースをしなければならないと、改めて感じさせられた試合でした。

3.2025 年度大阪府選手権水泳競技大会

開催日：2025/6/7(土)~2025/6/8(日)

会場：Asue 大阪プール

☆自己ベスト更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m自由形	男子	伊崎凜太郎	1	予選	24.46	30	
		中西孝太	3	予選	25.22	65	
100m 自由形	男子	伊崎凜太郎	1	予選	53.24	40	
		八坂康生	1	予選	52.73	25	
		丸山碧斗	3	予選	53.01	35	
200m 自由形	男子	八坂康生	1	予選	1:55.39	23	
		丸山碧斗	3	予選	1:57.29	37	
400m 自由形	男子	江夏遼	1	予選	4:19.30	36	
1500m 自由形	男子	江夏遼	1	予選	16:42.57	10	
50m 背泳ぎ	男子	山本空	1	予選	26.22	2	
				決勝	26.13	2	
100m 背泳ぎ	男子	山本空	1	予選	57.86	8	
				決勝	57.85	8	
100m 平泳ぎ	男子	馬場匠汰	1	予選	1:04.54	17	
				B 決勝	1:05.04	16	
		丸山碧斗	3	予選	1:04.80	22	
				B 決勝	1:05.70	18	
200m 平泳ぎ	男子	馬場匠汰	1	予選	2:19.79	11	
				B 決勝	2:18.25	11	
50m バタフライ	男子	伊崎凜太郎	1	予選	26.85	18	
				B 決勝	26.49	15	
100m バタフライ	男子	八坂康生	1	予選	55.91	13	
				B 決勝	55.80	13	
		田中廉汰朗	2	予選	56.02	14	
				B 決勝	56.18	16	
200m バタフライ	男子	田中廉汰朗	2	予選	2:03.90	5	
				決勝	2:03.18	4	

観戦記

山本 空

今回の試合は、大阪府出身者のみの出場となり、少人数での参加となりました。夏に向けた大切な試合ということもあり、選手たちはそれぞれ、シーズンに向けての課題を確かめるように真剣に泳いでいました。私自身としては、久しぶりの長水路のレースということもあり、自己ベストを更新する事が難しかったです。しかし、B 決勝や決勝に進出できた選手もいて、収穫の多い見応えのある大会だったと感じています。

4.第 13 回 関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会

開催日：2025/06/14(土)~2025/06/15(日)

会場：Asue 大阪プール

☆自己ベスト更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m 自由形	男子	中谷志優	3	予選	23.52	2	
				A 決勝	23.29	3	
		小嶋虹佑	4	予選	23.75	5	
				A 決勝	23.63	5	☆
		伊崎凜太郎	1	予選	24.23	18	
		辻翔太	1	予選	24.42	24	
		中西孝太	3	予選	24.84	39	
100m 自由形	男子	清水空	4	予選	51.85	8	
				A 決勝	51.70	8	
		中谷志優	3	予選	51.86	9	
				B 決勝	51.63	2	
		出羽也	2	予選	52.39	15	
				B 決勝	52.07	7	
		丸山碧斗	3	予選	52.69	19	
		八坂康生	1	予選	52.74	20	
		伊崎凜太郎	1	予選	53.52	35	
		中西孝太	3	予選	54.99	53	
200m 自由形	男子	出羽晃也	2	予選	1:52.43	6	
				A 決勝	1:52.44	6	
		垣内柊人	4	予選	1:55.01	14	☆
		清水空	4	予選	1:55.72	17	
		大平理登	4	予選	1:56.16	20	
		伊藤寛記	4	予選	1:56.71	21	
		八坂康生	1	予選	1:56.75	22	

		津田悠生	3	予選	1:59.74	35	
		石田拓也	2	予選	2:00.02	37	☆
400m 自由形	男子	伊藤寛記	4	予選	4:06.84	9	☆
		垣内柊人	4	予選	4:07.19	10	
		石田拓也	2	予選	4:13.57	15	☆
		津田悠生	3	予選	4:20.83	21	☆
	女子	高原桜唯	2	予選	4:36.11	7	
				A 決勝	4:34.71	7	
100m 背泳ぎ	男子	山本空	1	予選	57.11	3	
				A 決勝	56.67	3	
		田中秀路	1	予選	58.19	4	
				A 決勝	57.54	4	
		村田李々冬	3	予選	58.41	6	☆
				A 決勝	58.15	6	☆
	女子	山城夢芽	4	予選	1:08.43	11	
200m 背泳ぎ	男子	田中秀路	1	予選	2:08.95	7	
				A 決勝	2:05.18	5	
		村田李々冬	3	予選	2:07.88	6	
				A 決勝	2:07.54	6	
		山本空	1	予選	2:13.51	13	
		江夏遼	1	予選	2:14.83	16	☆
	女子	山城夢芽	4	予選	2:26.60	8	
				A 決勝	2:26.91	8	
100m 平泳ぎ	男子	重塚笙	4	予選	1:03.03	5	
				A 決勝	1:02.16	4	☆
		武本航志	3	予選	1:03.47	11	☆
				B 決勝	1:04.04	4	
		馬場匠汰	1	予選	1:04.01	15	☆

				B 決勝	1:03.41	1	☆
		丸山碧斗	3	予選	1:04.97		失格
200m 平泳ぎ	男子	重塚 笙	4	予選	2:16.29	3	
				A 決勝	2:15.55	5	
		馬場匠汰	1	予選	2:17.87	5	
				A 決勝	2:16.58	6	
		武本航志	3	予選	2:20.95	19	
100m バタフライ	男子	永井悠介	4	予選	56.24	3	
				B 決勝	55.85	14	
		田中廉汰朗	2	予選	55.96	13	
				B 決勝	55.99	7	
	女子	鶴田健介	1	予選	56.90	21	
				予選	1:03.13	5	
200m バタフライ	男子	田中廉汰朗	2	予選	2:03.52	6	
				A 決勝	2:03.05	6	
		永井悠介	4	予選	2:03.58	7	
				A 決勝	2:03.92	7	
	女子	鶴田健介	1	予選	2:04.73	10	
				予選	2:18.31	3	
200m 個人メドレー	男子	大平理登	4	予選	2:07.65	8	
				A 決勝	2:10.71	8	
		辻翔太	1	予選	2:09.81	11	
				B 決勝	2:09.47	3	
		小嶋虹佑	4	予選	2:10.67	14	☆
				B 決勝	2:10.82	5	
		左脇弘大	2	予選	2:10.40	13	

				B 決勝	2:11.01	6	
400m 個人メドレー	男子	左脇弘大	2	予選	4:44.55	13	
	女子	高原桜唯	2	予選	5:14.36	5	
				A 決勝	5:10.75	3	
1500m 自由形	男子	江夏遼	1	タ決	16:31.84	6	
4×100m フリーリレー	男子	清水・中谷 太平・出羽		タ決	3:25.66	1	
4×100m メドレーリレー	男子	山本・重塚 田中廉・中谷		タ決	3:45.91	1	
4×200m フリーリレー	男子	田中廉・出羽 丸山・垣内		タ決	7:36.94	1	

観戦記

馬場 匠汰

本大会は、関西学生選手権、日本学生選手権を想定した、次に繋がる試合と認識し、試合に出場しました。関西の学生が揃うということもあり独特の雰囲気、緊張感のある会場でした。私自身としては緊張している中、先輩方がベストタイムを更新してくださって、チームに良い波を作り、チーム全体を鼓舞してくださいました。私個人としては、その波に乗ることができ、大幅にベストタイムを更新することが出来ました。またチーム力について、本大会を通して実際に肌で感じる事が出来ました。この雰囲気の良いチームで、この夏結果を出していきたいと思いました。

5.第99回関西学生選手権水泳競技大会

開催日：2025/8/2(土)~2025/8/4(月)

会場：Asue 大阪プール

☆自己ベスト更新者 ★学院記録更新者

男子50m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	重藤 流世	近畿大	22.65	
②	高嶋 悠雅	同志社大	23.02	
③	松田 康平	近畿大	23.28	
⑤	中谷 志優	関西学院大	23.45	
⑧	伊崎 凜太郎	関西学院大	23.87	
予選	中谷 志優	関西学院大	23.70	
予選	小嶋 虹佑	関西学院大	23.91	
予選	伊崎 凜太郎	関西学院大	23.91	

女子50m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	諸橋 光咲	立命館大	26.81	
②	清川 藍	京都大	27.32	
③	野中 美奈	大阪公立大	27.84	

男子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	上甲 陽輝	大阪体育大	50.71	
②	三宅 琉暉	近畿大	50.74	
③	長島 京志郎	同志社大	51.03	
予選	中谷 志優	関西学院大	51.86	
予選	清水 歩空	関西学院大	52.20	
予選	八坂 康生	関西学院大	52.97	

女子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	諸橋 光咲	立命館大	58.24	
②	松本 和華	大阪教育大	58.78	
③	清川 藍	京都大	58.95	

男子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	今村 圭吾	近畿大	1:49.47	
②	安江 有貴	近畿大	1:50.61	
③	長島 京志郎	同志社大	1:50.73	
④	出羽 晃也	関西学院大	1:52.17	
予選	出羽 晃也	関西学院大	1:53.18	
予選	清水 歩空	関西学院大	1:53.27	
予選	垣内 柊人	関西学院大	1:54.65	☆

女子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	久野 日菜乃	大阪公立大	2:01.98	
②	松本 和華	大阪教育大	2:08.98	
③	梶田 紫夕	大阪国際大	2:09.45	

男子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	今村 圭吾	近畿大	3:53.20	
②	高木 陸	近畿大	3:53.60	
③	安江 有貴	近畿大	3:56.66	
④	出羽 晃也	関西学院大	3:57.26	
⑧	垣内 柊人	関西学院大	4:07.19	
予選	出羽 晃也	関西学院大	3:58.33	
予選	垣内 柊人	関西学院大	4:03.72	☆
予選	伊藤 寛記	関西学院大	4:07.91	

女子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
決①	久野 日菜乃	大阪公立大	4:14.14	
決②	青山 睦	立命館大	4:40.50	
決③	廣瀬 陽菜	京都大	4:54.76	

男子1500m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
タ決①	花澤 柊太	近畿大	15:31.39	
タ決②	森本 耕太	近畿大	15:32.24	
タ決③	高木 陸	近畿大	15:38.04	
タ決⑦	江夏 遼	関西学院大	16:26.84	
タ決⑭	津田 悠生	関西学院大	17:23.02	
タ決⑮	石田 拓也	関西学院大	17:40.54	

男子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	小東 真皓	近畿大	55.29	
②	藤井 陽太	近畿大	56.49	
③	山本 空	関西学院大	57.49	
④	田中 秀路	関西学院大	57.72	
予選	山本 空	関西学院大	58.16	
予選	田中 秀路	関西学院大	58.31	
予選	村田 李々冬	関西学院大	棄権	

男子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	小東 真皓	近畿大	2:01.54	
②	泉 陽一	近畿大	2:02.59	
③	平田 流一	近畿大	2:04.47	
④	田中 秀路	関西学院大	2:06.74	
⑧	大平 理登	関西学院大	2:10.81	
予選	田中 秀路	関西学院大	2:08.66	
予選	大平 理登	関西学院大	2:09.48	
予選	村田 李々冬	関西学院大	棄権	

男子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	佐藤 翼	近畿大	1:01.14	
②	大蔵 礼生	近畿大	1:01.27	
③	神園 航平	近畿大	1:02.24	
⑤	重塚 笙	関西学院大	1:02.66	
⑦	武本 航志	関西学院大	1:03.52	
予選	重塚 笙	関西学院大	1:03.11	
予選	武本 航志	関西学院大	1:03.12	☆
予選	丸山 碧斗	関西学院大	1:04.75	

女子800m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
タ決①	奥園 心咲	立命館大	8:47.13	
タ決②	高原 桜唯	関西学院大	9:32.00	
タ決③	面高 梨緒	大阪大	10:06.01	

女子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	野田 愛	立命館大	1:05.76	
②	福井 梨香子	大阪大	1:06.89	
③	山城 夢芽	関西学院大	1:07.68	
予選	山城 夢芽	関西学院大	1:09.16	

女子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	野田 愛	立命館大	2:19.93	
②	土井 惺奈	立命館大	2:26.29	
③	福井 梨香子	大阪大	2:27.83	
④	山城 夢芽	関西学院大	2:28.69	

女子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	井村 凪瀬	立命館大	1:11.32	
②	黒飛 茉里	立命館大	1:12.41	
③	庄司 滉	立命館大	1:14.28	

男子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	佐藤 翼	近畿大	2:11.89	
②	山口 哩駈	近畿大	2:13.28	
③	重塚 笙	関西学院大	2:14.41	☆★
⑥	馬場 匠汰	関西学院大	2:16.61	
予選	重塚 笙	関西学院大	2:16.33	
予選	馬場 匠汰	関西学院大	2:17.29	
予選	武本 航志	関西学院大	2:18.29	☆

男子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	高嶋 悠雅	同志社大	53.53	
②	三浦 圭人	近畿大	53.71	
③	山本 琉	近畿大	54.72	
⑥	八坂 康生	関西学院大	55.20	☆
予選	八坂 康生	関西学院大	55.49	
予選	永井 悠介	関西学院大	56.17	
予選	辻 翔太	関西学院大	56.54	

男子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	森本 耕太	近畿大	2:00.11	
②	林 耕誠	天理大	2:00.66	
③	三浦 圭人	近畿大	2:01.65	
⑤	永井 悠介	関西学院大	2:03.21	
⑧	鶴田 健介	関西学院大	2:04.05	
予選	永井 悠介	関西学院大	2:03.72	
予選	鶴田 健介	関西学院大	2:04.11	

男子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	泉 陽一	近畿大	2:02.98	
②	山田 海斗	近畿大	2:03.78	
③	井上 輝星	大阪体育大	2:05.38	
④	大平 理登	関西学院大	2:05.82	
予選	大平 理登	関西学院大	2:05.76	
予選	森谷 郁海	関西学院大	2:07.76	
予選	左脇 弘大	関西学院大	2:08.12	

女子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	井村 凧瀬	立命館大	2:32.23	
②	黒飛 茉里	立命館大	2:33.83	
③	庄司 滉	立命館大	2:40.57	

女子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	渡瀬 夢花里	関西学院大	1:02.38	
②	野中 美奈	大阪公立大	1:04.40	
③	原 愛菜	大阪国際大	1:06.36	
予選	渡瀬 夢花里	関西学院大	1:04.19	

女子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	奥園 心咲	立命館大	2:11.04	
②	渡瀬 夢花里	関西学院大	2:16.46	
③	原 愛菜	大阪国際大	2:29.70	

女子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	中澤 葵	立命館大	2:23.96	
②	加茂 那奈子	京都大	2:24.88	
③	佐藤 紫苑	立命館大	2:27.95	

男子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	山口 哩駟	近畿大	4:18.39	
②	木村 瞬弥	近畿大	4:21.64	
③	菅野 広大	近畿大	4:25.50	
予選	齋藤 瑛	関西学院大	4:40.27	
予選	森谷 郁海	関西学院大	4:40.74	
予選	左脇 弘大	関西学院大	4:42.32	

女子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	高原 桜唯	関西学院大	5:07.13	
②	中澤 葵	立命館大	5:09.92	
③	加茂 那奈子	京都大	5:11.34	

女子4x50mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	立命館大	野田 愛	1:47.59	
		諸橋 光咲		
		黒飛 茉里		
		奥園心咲		
②	大阪国際大	梶田 紫夕	1:52.68	
		内田 歩夢		
		原 愛菜		
		中村 ゆらら		
③	京都大	清川 藍	1:53.49	
		加茂 那奈子		
		竹本 杏美		
		廣瀬 陽菜		
④	関西学院大	渡瀬 夢花里	1:53.99	
		太田 結衣		
		山城 夢芽		
		高原 桜唯		

男子4x100mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	近畿大	重藤 流世	3:23.65	
		松田 康平		
		石塚 温		
		宮田 一佐		
②	同志社大	高嶋 悠雅	3:25.09	
		若杉 拓翔		
		洲崎 透真		
		長島 京志郎		
③	関西学院大	清水 歩空	3:25.66	
		中谷 志優		
		大平 理登		
		出羽 晃也		

女子4x100mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	立命館大学	奥園 心咲	3:55.55	
		野田 愛		
		富田 和奏		
		諸橋 光咲		
②	大阪国際大	梶田 紫夕	4:08.73	
		内田 歩夢		
		原 愛菜		
		中村 ゆらら		
③	京都大	清川 藍	4:08.86	
		竹本 杏美		
		廣瀬 陽菜		
		廣瀬 陽菜		
④	関西学院大	高原 桜唯	4:11.15	
		太田 結衣		
		山城 夢芽		
		渡瀬 夢花里		

男子4x200mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	近畿大	高木 陸	7:24.81	
		安江 有貴		
		宮田 一佐		
		山口 哩駈		
②	関西学院大	清水 歩空	7:33.39	
		出羽 晃也		
		田中 秀路		
		中谷 志優		
③	大阪体育大	井上 輝星	7:34.61	
		中川 凌太		
		和田 晃太郎		
		上甲 陽輝		

女子4x200mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	近畿大	大井 瑚夏	8:21.22	
		谷口 涼菜		
		川原 愛菜		
		大嶋 千桜		
②	関西大	浅尾 萌々香	8:25.17	
		瀬賀 映佳		
		吉田 芽生		
		木村 陽香		
③	武庫川女子大	庄司 彩花	8:28.14	
		片山 珠里		
		古長 みさと		
		樋口 実紅		

男子4x100mメドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	近畿大	小東 真皓	3:39.31	
		大蔵 礼生		
		三浦 圭人		
		三宅 琉暉		
②	関西学院大	山本 空	3:44.36	
		重塚 笙		
		八坂 康生		
		清水 歩空		
③	大阪体育大	田中 拓紀	3:46.38	
		宗石 星流		
		中川 凌太		
		上甲 陽輝		

女子4x100mメドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	立命館大	野田 愛	4:16.22	
		井村 風瀬		
		奥園 心咲		
		諸橋 光咲		
②	京都大	高宮 怜花	4:39.63	
		加茂 那奈子		
		清川 藍		
		廣瀬 陽菜		
③	関西学院大	山城 夢芽	4:41.47	
		高原 桜唯		
		渡瀬 夢花里		
		太田 結衣		

観戦記

馬場 匠汰

この大会は、関西の学生が全員揃い、自分のため、チームのために戦うため緊張感のある白熱した3日間でした。男子「総合2位奪還」、女子「1部昇格」を目標にチームが1つになった結果、関学記録、ベスト記録が多く更新されました。さらに目標としていた男子総合2位奪還を達成し、日本学生選手権へと良い雰囲気ではじめたいと思います。私個人は、自己ベストを更新できず不甲斐ない結果で終わってしまったので、日本学生選手権に向けて努力していきます。

6.第 13 回関西学生夏季長水路公認記録会

開催日：2025/8/31

会場：秋葉山公園県民水泳場

☆自己ベスト更新者

種目	男女	氏名	学年	予/決	記録	順位	備考
50m 自由形	男子	小嶋虹佑	4	夕決	24.15	4	
		大平理登	4	夕決	24.50	8	
		伊藤寛記	4	夕決	24.75	14	☆
		湯田平航樹	4	夕決	31.71	87	☆
	女子	山城夢芽	4	夕決	28.44	9	☆
100m 自由形	男子	辻翔太	1	夕決	53.05	7	
		津田悠生	3	夕決	53.90	14	
200m 自由形	男子	伊藤寛記	4	夕決	1:55.87	2	☆
		辻翔太	1	夕決	1:57.50	4	
		石田拓也	2	夕決	1:58.54	6	☆
		津田悠生	3	夕決	1:59.89	12	
400m 自由形	男子	石田拓也	2	夕決	4:11.03	2	☆
1500m 自由形	男子	江夏遼	1	夕決	16:40.03	1	
		津田悠生	3	夕決	17:30.66	5	
200m 平泳ぎ	男子	森谷郁海	3	夕決	2:18.32	1	

200m 個人メドレー	男子	森谷郁海	3	タ決	2:08.12	2	
	女子	山城夢芽	4	タ決	2:28.33	6	

観戦記

辻 翔太

今大会で4回生の伊藤寛記さんが引退されました。

最後のレースでは自己ベストを大幅に更新され、私はその姿から4回生の底力と長年の努力の成果を強く感じました。

私自身も寛記さんのように日々努力を重ね、大きく成長できるように頑張りたいと思います。

7.第 101 回日本学生選手権水泳競技大会

開催日：2025/9/4~2025/9/7

会場：東京アクアティクスセンター

☆自己ベスト更新者

男子50m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	蓮沼 椋祐	中央大	22.28	
②	市村 優弥	鹿屋体育大	22.31	
③	松原 光佑	新潟医福大	22.51	
予選	中谷 志優	関西学院	23.52	
予選	伊崎 凛太郎	関西学院	23.75	
予選	小嶋 虹佑	関西学院	24.02	

女子50m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	溝口 歩優	筑波大	25.29	
②	松浦 百愛	中京大	25.39	
②	高橋 凛	筑波大	25.39	

男子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	村佐 達也	中央大	48.82	
②	光永 翔音	中央大	48.94	
③	柳本 幸之介	日本大	49.04	
予選	清水 歩空	関西学院	51.54	
予選	中谷 志優	関西学院	51.74	
予選	伊崎 凛太郎	関西学院	52.22	

女子100m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	鈴木 莉緒	青山学院大	55.01	
②	溝口 歩優	筑波大	55.15	
③	長谷川 葉月	中央大	55.51	

男子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	村佐 達也	中央大	1:45.62	大会新
②	柳本 幸之介	日本大	1:47.34	
③	原 空輝	早稲田大	1:48.09	
予選	出羽 晃也	関西学院	1:51.60	☆
予選	清水 歩空	関西学院	1:54.14	
予選	垣内 柊人	関西学院	1:55.10	

女子200m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	竹澤 瑠珂	早稲田大	1:58.36	
②	長尾 佳音	明治大	1:58.48	
③	岡村 梨香	法政大	1:59.83	

男子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	西川 我咲	東洋大	3:48.28	
②	山本大地	中京大	3:50.73	
③	辻 大輝	中京大	3:51.23	
予選	出羽晃也	関西学院	3:59.10	

女子400m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	梶本 一花	同志社大	4:06.81	大会新
②	松崎 りん	早稲田大	4:09.63	
③	長尾 佳音	明治大	4:09.87	

男子1500m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	辻森 魁人	日本大	15:08.30	
②	宮木 宏悦	中京大	15:12.66	
③	山本 大地	中京大	15:16.68	

女子800m自由形

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	梶本 一花	同志社大	8:29.85	大会新
②	松崎 りん	早稲田大	8:36.30	
③	青木 虹光	早稲田大	8:37.42	

男子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	竹原 秀一	東洋大	53.76	
②	三光 哲平	中央大	54.08	
③	西村 優雅	明治大	54.48	
予選	山本 空	関西学院	57.32	
予選	田中 秀路	関西学院	58.28	
予選	村田 李々冬	関西学院	59.54	

男子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	竹原 秀一	東洋大	1:55.50	
②	西小野 皓大	中京大	1:56.46	
③	吉田 修一朗	中京大	1:57.86	
予選	大平 理登	関西学院	2:06.73	☆
予選	田中 秀路	関西学院	2:06.97	
予選	村田 李々冬	関西学院	2:13.05	

男子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	大蔵 礼生	近畿大	59.70	
②	松本恭太郎	東京大	1:00.29	
③	松田 藍青	早稲田大	1:00.45	
予選	重塚 笙	関西学院	1:03.12	
予選	武本 航志	関西学院	1:03.63	
予選	丸山 碧斗	関西学院	1:04.66	

男子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	吉田 悠真	明治大	2:10.42	
②	牧野 航介	東洋大	2:10.58	
③	山口 哩駈	近畿大	2:10.60	
予選	馬場 匠汰	関西学院	2:16.87	
予選	重塚 笙	関西学院	2:17.48	
予選	武本 航志	関西学院	2:19.11	

男子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	光永 翔音	日本大	51.71	
②	成嶋 義徳	神奈川大	52.44	
③	峠 蓮人	中京大	52.55	
予選	辻 翔太	関西学院	57.13	

男子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	上川畑 英	日本大	1:55.39	
②	小方 颯	日本大	1:55.50	
③	川野 博大	法政大	1:55.87	
予選	鶴田 健介	関西学院	2:04.34	
予選	永井 悠介	関西学院	2:04.49	

女子100m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	長岡 愛海	神奈川大	1:00.45	
②	佐々木 美莉	東洋大	1:00.80	
③	竹葉 智子	中京大	1:01.28	

女子200m背泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	長岡 愛海	神奈川大	2:10.87	
②	宮城 歩優	中京大	2:11.41	
③	澤 響花	青山学院大	2:11.94	

女子100m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	加藤 心富	早稲田大	1:06.58	
②	小畠 優々美	神奈川大	1:07.86	
③	矢本 奈菜	日本大	1:08.44	

女子200m平泳ぎ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	小畠 優々美	神奈川大	2:24.30	
②	加藤 心富	早稲田大	2:24.94	
③	田積 帆乃果	近畿大	2:26.32	

女子100mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	木津喜 一花	明治大	58.91	
②	長谷川 葉月	中京大	58.96	
③	秋山 栞名	新潟医福大	59.31	
予選	渡瀬 夢花里	関西学院	1:02.03	

女子200mバタフライ

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	藤本 穂	同志社大	2:08.91	
②	後野 真衣	鹿屋体育大	2:10.67	
③	奥園 心咲	立命館大	2:10.77	
予選	渡瀬 夢花里	関西学院	2:17.38	

男子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	松下 知之	東洋大	1:56.58	
②	小方 颯	日本大	1:57.28	
③	牧野 航介	東洋大	1:57.48	
予選	大平 理登	関西学院	2:05.79	
予選	辻 翔太	関西学院	2:10.16	
予選	左脇 弘大	関西学院	2:10.65	

男子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	松下 知之	東洋大	4:07.21	大会新
②	西川 我咲	東洋大	4:09.26	
③	木村 瞬弥	近畿大	4:12.13	
予選	斎藤 瑛	関西学院	4:35.76	
予選	森谷 郁海	関西学院	4:39.93	

男子4×100mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	中央大	蓮沼・村佐・光永・小山	3:15.04	大会新
②	早稲田大	松井・原・新開・村上	3:16.95	
③	明治大	餅田・成嶋・スコット・渡辺	3:17.40	
予選	関西学院	清水・中谷・大平・出羽	3:26.06	

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	中央大	嶋田・村佐・光永・蓮沼	7:12.24	
②	東洋大	松下・牧野・坊岡・西川	7:12.61	
③	日本大	小方・柳本・千葉・大木	7:15.20	
④	関西学院	出羽・田中・中谷・清水	7:35.26	

男子4×100mメドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	中央大	三光・谷藤・村佐・光永	3:34.66	
②	東洋大	竹原・釜田・松下・牧野	3:34.81	
③	明治大	西村・小嶋・成嶋・渡辺	3:35.56	
予選	関西学院	山本・重塚・八坂・清水	3:46.44	

女子200m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	成田 実生	明治大	2:10.48	
②	鈴木 莉緒	青山学院大	2:11.70	
③	佐藤 梨央	青山学院大	2:13.20	

女子400m個人メドレー

順位	氏名	大学名	記録	備考
①	成田 実生	明治大	4:35.66	大会新
②	鈴木 彩心	日本体育大	4:38.65	
③	佐藤 梨央	青山学院大	4:40.91	

女子4×100mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	早稲田大	内田・船越・青木・竹澤	3:40.93	
②	明治大	伊藤・田村・木津喜・長尾	3:42.19	
③	筑波大	高橋・溝口・小俣・中村	3:43.55	
予選	関西学院	山城・太田・高原・西山	4:53.35	

女子4×200mフリーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	早稲田大	松崎・青木・船越・竹澤	8:00.21	大会新
②	明治大	伊藤・成田・木津喜・長尾	8:04.60	
③	法政大	岡村・野村・水上・松野	8:06.17	

女子4×100mメドレーリレー

順位	大学名	氏名	記録	備考
①	神奈川大	長岡・小島・西澤・廣光	4:03.42	
②	早稲田大	亀井・加藤・水野・船越	4:02.36	
③	青山学院大	澤・佐藤・野田・鈴木	4:06.18	
予選	関西学院	山城・太田・西山・高原	4:21.30	

観戦記

辻 翔太

大学入学後初めての全国大会となった今大会は、私にとって非常に特別な経験になりました。チーム全体としては思うように記録が出せず、雰囲気も重く、良い流れも作ることが出来ませんでした。その中で、私が流れを変える存在になりたいと強く思い、レースに臨みましたが、結果として力及ばず、チームに勢いをつけることはできませんでした。全国大会の舞台の厳しさと、自分の未熟さを痛感すると同時に、この悔しさを今後の成長につなげたいと感じました。

〈水球パート〉

1. 関西学生選手権水球競技大会

開催日：6月 21日、22日、28日、29日

7月 5日、6日、19日

場所：京都大学、Asue 大阪プール

最終結果：1部3位

第一試合 vs 神戸大学

関学	VS	神戸	得点者
2	1P	3	津田 2 藤分 3 深井 1 井上 1 神戸 1 岡本 10
6	2P	2	
5	3P	2	
5	4P	6	
18	合計	13	

第二試合 vs 立命館大学

関学	VS	立命館	得点者
4	1P	2	和田 1 津田 2 友久 4 深井 2 井上 2 藤分 3 吉川 1 岡本 7
5	2P	1	
4	3P	3	
9	4P	3	
22	合計	9	

第三試合 vs びわこ成蹊スポーツ大学

関学	VS	びわこ	得点者
3	1P	1	津田 2 友久 3 深井 3 藤分 3 井上 1 岡本 4
5	2P	2	
2	3P	4	
3	4P	6	
3	PS	4	
13(3)	合計	13(4)	

第四試合 vs 龍谷大学

関学	VS	龍谷	得点者
4	1P	3	藤分 5 深井 1 岡本 3
2	2P	3	
1	3P	7	
2	4P	3	
9	合計	16	

第五試合 vs 立命館大学

関学	VS	立命館	得点者
3	1P	5	和田 1 藤分 5 井上 2 友久 2 深井 5
3	2P	0	
2	3P	6	
7	4P	2	
15	合計	13	

第六試合 vs 龍谷大学

関学	VS	龍谷	得点者
3	1P	4	和田 1 津田 2 井上 1 藤分 4 岡本 5
3	2P	3	
4	3P	2	
3	4P	5	
13	合計	14	

第七試合 vs びわこ成蹊スポーツ大学

関学	VS	びわこ	得点者
3	1P	3	和田 1 津田 1 藤分 4 井上 1 友久 1 岡本 5
5	2P	1	
4	3P	2	
1	4P	8	
13	合計	14	

第八試合 vs 神戸大学

関学	VS	神大	得点者
3	1P	1	村上 1 津田 3 井上 1 友久 4 深井 4 藤分 5 岡本 6
9	2P	3	
6	3P	5	
6	4P	4	
24	合計	13	

2. 全日本学生選手権水球競技大会

開催日 : 8 月 28 日、29 日、30 日、31 日

場所 : 横浜国際プール

第一試合 vs 慶応義塾大学

関学	VS	立命館	得点者
0	1P	8	津田 1 深井 1 藤分 1
2	2P	7	
1	3P	7	
0	4P	1	
3	合計	23	

関カレ・インカレ観戦記

古屋野 舜士

関西制覇、インカレ出場を目標に掲げ挑んだ関西学生選手権、初戦は神大だった。1P を 2-3 で終え相手の守備力に苦戦したものの、それ以降は関学が主導権を握り続け、18-13 で大事な初戦を勝ち切ることができた。最後には選手交代を行い全員で掴み取った勝利となった。二戦目は立命大との対戦だった。昨年敗北した雪辱を晴らすべく挑んだこの試合、序盤から関学がペースを握り続け 2P 終了時には 9-3 と大きく点差を広げその後も勢いは止まらず 22-9 と大差で勝利した。インカレ出場を目前にして敗北した昨年のリベンジを果たし、関学水球の強みを前面に出した試合となった。予選リーグ 3 試合目はびわ湖成蹊スポーツ大学だった。第 1 ピリオド 3-1、第 2 ピリオド 5-2 と序盤は優位に試合を進めることができた。しかし、終盤に追い上げられ、PSO にもつれ込む接戦となり、最終的に 16-17 と敗北してしまう。予選リーグ 4 試合目は龍谷大学と対戦した。第 1 ピリオドを 4-3 とリードする展開だったが、その後は相手の勢いを止めることができず、最終的に 9-16 と惨敗した。

決勝リーグ 1 試合目は立命館大学戦であった。予選リーグでは 22-9 と終始優位に試合を進めて勝利することができていた。だが決勝リーグでは終盤まで優位に試合を進めることが出来ず、第 3 ピリオドを終えてリードを許してしまっていた。だが第 4 ピリオドで怒濤の追い上げを見せ、逆転し 15-13 で勝利した。続く龍谷大学戦は第 3 ピリオドを終えて 10-9 と 1 点リード。しかし第 4 ピリオドで巻き返され、13-14 と敗北してしまう。

決勝リーグ 3 試合目はびわ湖成蹊スポーツ大学だった。第 1 ピリオド 3-3 と接戦を繰り広げ、第 2 ピリオド 5-1、第 3 ピリオド 4-2 で第 3 ピリオド終了時 12-6 とリードを広げた。しかし、第 4 ピリオドで 1-8 と大幅に追い上げられ、13-14 で惜敗した。決勝リーグ 4 試合目は最終戦で相手は神戸大学。第 1 ピリオドは 3-1 でリードし、第 2 ピリオド 9-3、第 3 ピリオド 6-5、第 4 ピリオド 6-4 とリードを広げ、最終スコア 24-13 で危なげなく勝利した。この結果により関西学生選手権 3 位が確定し、12 年ぶりの日本学生選手権出場が決定した。

日本インカレ初戦の相手は慶應義塾大学だった。第 1 ピリオドは序盤に連続で退水をとられ失点。シュートまで行くものの、高い所で打たされ得点は出来ず 0-8 と大きく点差をつけられてしまう。続く第 2 ピリオド、さらに 2 点をとられ 10 点差までつけられたが、その後すぐ、退水をとり全日本インカレ初得点をあげた。また、ペナルティを誘発し 2 点目を取り、2-15 で第 3 ピリオドに入る。途中で 1 点を入れるも、合計 7 点をとられ 3-22 で第 3 ピリオドが終了。第 4 ピリオド、慶應義塾大学からの攻撃、ペナルティをとられ 3-23 でコールド負けとなった。12 年振りの全日本インカレで全国の壁を大きく感じさせられた試合となった

【飛込】

1.第 101 回日本学生選手権水泳競技大会

開催日：8 月 29～8 月 31 日

会場：日環アリーナ栃木

第101回（2025年度）日本学生選手権水泳競技大会
飛込競技

順位一覧
女子 高飛込 予選

開催日	2025/09/06	Referee	大久保 一司	Judges (A) 3Round	Judges (B) 2Round
開始時間	12：30	Asst. Ref	中島 勝司	1 段木 雅博	1 伊熊 豊和
大阪・Asue大阪 プール		Plat. Judge	伊熊千香子／重永美希子	2 寺田 裕樹	2 瓦井 光子
制限選択飛回数	0回	Rec Cheif	高山 優子	3 角丸 房子	3 服部 健一
自由選択飛回数	5回			4 中山 拓弥	4 森岡 大成
気温	33.0℃			5 茶木 葉	5 木綿 薫
水温	30.9℃			6 河合 研司	6 毒島 泰士
天候	晴れ			7 横木 翔	7 馬淵 崇英

順位	氏名	所属名	LIMIT	FREE	得点合計
1	金戸 凜	カト リン	日本大学	315.55	315.55
2	坂田 丹寧	サカタ アナ	高崎健康福祉大学	273.60	273.60
3	山崎 佳蓮	ヤマザキ カレン	高知工科大学	267.20	267.20
4	乗松 飛羽	ノリマツ トウ	高崎健康福祉大学	236.50	236.50
5	青山 由唯加	アヤマ ユイカ	日本体育大学	226.15	226.15
6	安丸 和華	ヤスマル ノドカ	高崎健康福祉大学	202.30	202.30
7	嶋崎 菜乃	シマザキ ナノ	関西学院大学	201.35	201.35
8	末次 心温	スエツキ コハル	茨城工業高等専門学校	195.90	195.90
9	田所 三夏姫	タノコロ ミナミ	日本体育大学	181.65	181.65
10	西沢 未来笑	ニシザワ ミラエ	明治大学	172.10	172.10
11	森淵 純鈴	モリフチ スミレ	福山平成大学	170.20	170.20
12	戸田 萌々香	トダ モモカ	仙台大学	160.40	160.40
13	廣田 颯	ヒロタ イコイ	同志社女子大学	146.75	146.75
棄権	伊藤 和奏	イトウ ワカナ	近畿大学		
棄権	関野 思衣	セキノ シイ	白鷗大学		

出典：公益財団法人日本水泳連盟 HP

第101回（2025年度）日本学生選手権水泳競技大会
飛込競技

順位一覧
女子 高飛込 決勝

開催日 2025/09/06
開始時間 16:00
大阪・Asue大阪プール

制限選択飛回数 0回

自由選択飛回数 5回
気温 33.0℃
水温 30.9℃
天候 晴れ

Referee 大久保 一司

Asst. Ref 中島 勝司

Plat. Judge 角丸 房子

Rec Cheif 山崎 雅夫

Judges 5Round

1 馬淵 崇英
2 河合 研司
3 毒島 泰士
4 寺田 裕樹
5 瓦井 光子
6 木綿 薫
7 重永 美希子

順位	氏名	所属名	LIMIT	FREE	得点合計
1	金戸 凜	カト リン	日本大学	348.15	348.15
2	山崎 佳蓮	ヤマザキ カレン	高知工科大学	305.00	305.00
3	坂田 丹寧	サカタ アカネ	高崎健康福祉大学	283.85	283.85
4	乗松 飛羽	ノリマツ トウ	高崎健康福祉大学	258.60	258.60
5	末次 心温	スエツギ コハル	茨城工業高等専門学校	220.20	220.20
6	安丸 和華	ヤスマル ノトカ	高崎健康福祉大学	196.55	196.55
7	西沢 未来笑	ニシザワ ミラエ	明治大学	186.00	186.00
8	青山 由唯加	アヤマ ユイカ	日本体育大学	182.30	182.30
9	戸田 萌々香	トダ モモカ	仙台大学	174.25	174.25
10	森淵 純鈴	モリフチ スミレ	福山平成大学	173.50	173.50
11	嶋崎 菜乃	シマザキ ナノ	関西学院大学	168.90	168.90
12	田所 三夏姫	タノコロ ミナミ	日本体育大学	115.80	115.80

出典：公益財団法人日本水泳連盟 HP

第101回（2025年度）日本学生選手権水泳競技大会
飛込競技

順位一覧
女子 3m 飛板飛込 予選

開催日 2025/09/07
開始時間 10:00
大阪・Asue大阪プール

Referee 中島 勝司
Asst. Ref 金戸 幸

Judges (A) 3Round	Judges (B) 2Round
1 水島 豊	1 伊熊 豊和
2 馬淵 崇英	2 中山 拓弥
3 服部 健一	3 瓦井 光子
4 木綿 薫	4 段木 雅博
5 角丸 房子	5 重永 美希子
6 伊熊 千香子	6 横木 翔
7 谷内 寛	7 茶木 葉

制限選択飛回数 0回

自由選択飛回数 5回
気温 33.0℃
水温 29.8℃
天候 晴れ

Rec Cheif 高山 優子

順位	氏名	所属名	LIMIT	FREE	得点合計
1	嶋崎 菜乃	シマザキ ナノ	関西学院大学	229.85	229.85
2	山崎 佳蓮	ヤマザキ カレン	高知工科大学	221.00	221.00
3	安丸 和華	ヤスマル ノトカ	高崎健康福祉大学	210.30	210.30
4	山口 歩夏	ヤマぐち ホナツ	日本体育大学	202.90	202.90
5	関野 思衣	セキノ シイ	白鷗大学	188.70	188.70
6	乗松 飛羽	ノリまつ トウ	高崎健康福祉大学	187.10	187.10
7	青山 由唯加	アオヤマ ユイカ	日本体育大学	182.05	182.05
8	西沢 未来笑	ニシザワ ミライ	明治大学	179.25	179.25
9	坂田 丹寧	サカタ アナベ	高崎健康福祉大学	168.75	168.75
10	末次 心温	スエツキ コハル	茨城工業高等専門学校	166.55	166.55
11	森淵 純鈴	モリフチ スミレ	福山平成大学	164.35	164.35
12	小坂橋 咲良	コイタハシ サラ	秋田大学	159.45	159.45
13	猿田 百穂美	サルタ ユホミ	法政大学	149.95	149.95
14	廣田 颯	ヒロタ イコイ	同志社女子大学	128.70	128.70
15	田所 三夏姫	タノ コロ ミナミ	日本体育大学	123.15	123.15
16	鈴木 一葉	スズキ カスハ	東海学園大学	120.70	120.70
棄権	伊藤 和奏	イトウ ワカナ	近畿大学		

出典：公益財団法人日本水泳連盟 HP

第101回（2025年度）日本学生選手権水泳競技大会
飛込競技

順位一覧
女子 3m 飛板飛込 決勝

開催日 2025/09/07
開始時間 13:15
大阪・Asue大阪プール

Referee 中島 勝司
Asst. Ref 大久保 一司

Judges 5Round
1 茶木 葉
2 横木 翔
3 中山 拓弥
4 重永 美希子
5 段木 雅博
6 谷内 寛
7 角丸 房子

制限選択飛回数 0回

自由選択飛回数 5回
気温 33.0℃
水温 29.8℃
天候 晴れ

Rec Cheif 高山 優子

順位	氏名	所属名	LIMIT	FREE	得点合計
1	坂田 丹寧	サカタ アネ	高崎健康福祉大学	239.25	239.25
2	乗松 飛羽	ノリマツ トウ	高崎健康福祉大学	223.30	223.30
3	安丸 和華	ヤスマル ノドカ	高崎健康福祉大学	207.65	207.65
4	嶋崎 菜乃	シマザキ ナノ	関西学院大学	204.40	204.40
5	関野 思衣	セキノ シイ	白鷗大学	194.85	194.85
6	青山 由唯加	アオヤマ ユイカ	日本体育大学	193.15	193.15
7	西沢 未来笑	ニシザワ ミラエ	明治大学	185.70	185.70
8	末次 心温	スエツキ コハル	茨城工業高等専門学校	180.60	180.60
9	山崎 佳蓮	ヤマザキ カレン	高知工科大学	175.20	175.20
10	小坂橋 咲良	コイタハシ サラ	秋田大学	172.95	172.95
11	山口 歩夏	ヤマグチ ホナツ	日本体育大学	172.05	172.05
12	森淵 純鈴	モリフチ スミレ	福山平成大学	165.70	165.70

出典：公益財団法人日本水泳連盟 HP

【参考文献】

（インターネット）

公益財団法人日本水泳連盟 HP『飛込 大会結果』

(<https://aquatics.or.jp/dive/>) 2025 年 10 月 27 日閲覧

Ⅲ.現役部員紹介

4年間を振り返って

赤木 彩羽

私自身高校まで水泳を選手として続けており、大学ではマネージャーとして水泳に携わりたいと決意し、KGUSTに入部いたしました。いつも他愛のない話をしてふざけ合っているKGUSTのみんなですが、レースに出ると表情が一変し、関カレなどの大きい試合で決勝に残り、メダルをとって活躍している姿を見ると、やっぱりみんなはアスリートなのだ、かっこいいなと再認識させてくれました。自分はそんなKGUSTのマネージャーとして選手を支えているのだと思うと、選手が試合で良い結果を残してくれるとすごく嬉しかったし、4年間マネージャーとして頑張れたことを誇りに思えました。

また、最高学年になり、どうしたら後輩のマネージャーたちが自分の仕事にやりがいを持ち、成長できるかということを考えながら日々活動していたので、入部見学の時に迷いながらも入部を決断してくれた後輩たちが「この部活に入ってマネージャーになって本当によかった、毎日が楽しい」と言ってくれたことが本当に嬉しかったし、少しずつできることが増えて、自発的にマネージャーの仕事を遅くこなす後輩たちの姿を見るのが私のやりがいにも繋がっていました。マネージャー業務は試合帯同や練習以外にも、周りからは見えづらい裏方の仕事もあり、大変に感じることもあると思いますが、困った時にはお互い助け合って乗り越えていってほしいと感じます。この4年間楽しいことだけではなく、悩んだりすることもありましたが、4年間1つのことに全力で向き合い取り組み続け、無事に最後までマネージャー業を全うできた経験は、自信につながり今後の人生でも自分を助けてくれると思います。

最後まで大好きなKGUSTの皆で一丸となって選手を全力で応援し、サポートすることができたことに感謝します。

部活動で関わってくれた皆さま、本当にありがとうございました。

自分自身がこれを書いていることに4年という時が経つ早さをとても感じています。しかし、その4年間はとても濃く、振り返れば語り尽くせない程の思い出があり、その一つ一つの思い出には文字や言葉では表しきれないほどの贅沢な思いと感情があります。長く稚拙な文章にはなりますが、ここではそれらを少しずつ書かせていただこうと思いますので、最後までお読みいただけますと幸いです。

私の大学水泳は、競技の結果面で言えば最悪のスタートでした。ベストは愚か、高校1年生のときのタイムすら越えられないような日々が続き、苦しい時期を過ごしました。水泳人生で初めてのスランプでした。今思えば、当時の自分は固定観念に囚われ、持っている知識や教えて貰ったことも活かすのではなく、そういうものだとか完結させてしまい、思考している風の選手でした。ただ、当時の自分はそれが最大限の思考で、それを持ってしても結果が出ない、苦しい、辛い、そんな日々が続き大学2年生の夏もそのまま終えてしまいました。しかし、その後すぐ、2年生の秋が私にとって起点となりました。「考えるために考えることをやめる」ということをしました。それまで提供していただいたメニューに対して、自分の考えややり方に合わないと言い、自分の考えで練習することをしてきましたが、そうではなく、メニュー作成者の意図を考え、理解し素直に飲み込んでメニューに対しての理解を深め、1から競泳を学ぶことにしました。努力することは大前提で、そこは変わらず、作成者の意図を考えるために自分流に考えることをやめました。たったそれだけのことだと思われるかもしれませんが、私にとってとても大切なことだと感じています。大切なのは、素直さです。自分でやって上手くいかないのなら、他者の声に耳を傾け、受け止めることの大切さを恥ずかしながら20歳という年齢で学びました。そこから少しずつタイムが上がり始め、大学3年生からはベストが出なかった試合の方が少なかったように感じます。この気づきは、私にとってこの4年間で得られた財産の1つです。

人はときに、大事なことを見失ったり、できる贅沢をしないでいたりして思い悩むことがあります。素直でいることは大事なことで、努力できる環境があることは贅沢なことです。素直になることも努力することも簡単です。きっかけというのは些細なもので難しいものではありません。そんな簡単なことで、思い悩んでいることは消えるのです。静かな池に落ちた小石が少しずつ波紋を広げ景色を変えるように、何気ないことが大きく影響を与えてくれます。だから思い悩んだときは、自分に欠けているものを冷静になって探してみてください。小さな気づきと1つの行動が皆さんを成長へと導いてくれます。自分で見つからないのであれば、周りに助けも求めてください。私もいつでも相談に乗ります。

最後に、私は特別何かすごいことを成し遂げた訳ではありません。何も知らない人からすれば、私の水泳人生は平凡なものだったでしょう。しかし、関学水泳部の皆さんであれば、そうでないことは知っているとします。私の築いてきたものを、辿ってきた過程を、皆さんが見て少しでも希望になれたらと思います。これからの皆さんの成長と活躍をお祈りし、陰ながら応援させていただきます。

約 4 年前、関学水泳部に入部してからのことをここに書かせていただきます。とその前に、入学する前の自分を少しだけ紹介。自慢から入りますが、少しお付き合い下さい。

私は、高校までのジュニア時代(高校 2 年生まで)で多くの栄冠を手にしていました。兵庫県学童記録、兵庫県中学記録、兵庫県高校記録、兵庫県記録、全国中学 3 位、国民体育大会(現国民スポーツ大会) 3 位、ジュニアオリンピック 2 度優勝、兵庫県内では敵なしという順風満帆な水泳人生を過ごしながら強豪校(いわゆるシード校)からもありがたいことに推薦をいただきながら、当時の高校の監督からの猛烈な反対を押し切って関学水泳部に入学を決めました。正直、関学水泳部のことは舐めている自分がいたのは明確でした。そんな中で高校ラストイヤーでの思わぬ事故により競技成績は落ちぶれ精神状態は、「どん底」の状態に関学に入部、水上競技部に入部していました。ここまでが入学前の自分です。

さて、ここからは入学、入部してからのことを書いていただきます。入部してから私は、前述したように「どん底」状態にあり、同期をはじめ先輩に知り合いが多くいたにも関わらず、本来の自分を出せずに出てきた練習メニューをただこなすだけ同期だろうが先輩だろうが関係なく敵対するようになり、コロナ禍の規制で自分だけ関西学生選手権にも出場できず、素行も悪くなり自分に自信も持てなくなり、ついにはルールを破って 3 ヶ月の謹慎処分を下され、1 年間を終えてしまいました。そこから 2 年生、3 年生と学年があがるにつれ自分の伸びない成績と部活に対しての嫌悪感で退部を何度も考えました。3 年生のシーズンでやめること決めていました。しかし今となれば、4 年まで続けています。最後の一年に入る前、同期の清水重塚湯田平小嶋のそれぞれにかけてくれた言葉のおかげでした。感謝しかありません。約 4 年ぶりに真剣に水泳に打ち込んだ最後の一年本当に最高でした。成績で言えば大した成績は載せませんでしたが、純粋に水泳をたのしむことができました。106 代のメンバーには感謝しかありません。

今後は外部から OB という立場で関西学院大学水上競技部競泳パートを支援していこうと思います。もっと沢山長々と書いていこうとしましたが、この辺りで失礼いたします。

ありがとうございました。

4年間を振り返って

垣内 柊人

4年間本当にありがとうございました。水上競技部でたくさんの経験が出来、その全てがかけがえない財産となりました。現役を支えてくださったOB・OGの皆様、監督、トレーナーの方々、及び関係者の皆様に心より御礼申し上げます。ここからは私の4年間について振り返りたいと思います。稚拙な文章ではございますが、ご一読いただけますと幸いです。

私は高校3年生時、この水上競技部に所属するかどうかを悩んでいました。個人で全国大会出場すらも叶わない競技レベルながら、高校1年生時からほとんど記録が伸びていなかったからです。ただでさえ大学生は伸び悩む選手が多い中、自分はやっていけるか不安でした。しかし、納得できる高校水泳ではなかったことと、10年以上続けてきた自分の柱のようなこの競技を最後までやり切りたいという思いが勝り、入部を決意しました。

大学3年生までは、それなりに練習は頑張っていましたが結果は出ず、ただ、必死に努力する同期や先輩を見ていて心の底では自分はこんなもんじゃ無いという思いがずっとありました。より主体的に練習を頑張ろう出したのは、2年生の夏にMLにパート移動してからです。怪我也有りましたが変化を受け入れ、自らのやるべきことを考え継続しました。そして3年生時に約3年ぶりに自己ベストを更新し、初めてレギュラーを獲得することが出来ました。4年生時には入学当時より目標として掲げていた関西学生選手権での決勝進出と、個人でのインカレ制限記録突破を達成することが出来ました。ジュニア時代から個人での全国大会に一步届かない水泳人生を歩んできた私にとっては、その瞬間こそがここまで水泳を続けてきた理由であるように感じられ、すごく嬉しかった事を覚えています。

これまでの水泳人生を振り返ると、苦しいこともたくさん経験してきました。それでも約15年間競技をやり切れたのは、関わって下さったたくさんの方々の支えがあったからです。特に両親には感謝しています。水が嫌いでお風呂では大泣きしていた私をスイミングスクールに通わせ、水泳と出会わせてくれました。そして水泳が中心の生活を受け入れ、水泳が続けられる事が当たり前の環境にしてくれました。記録が伸びなくても特に何も言わず、ただ支え続けてくれた両親へ最後は少し結果で恩返しできたかなと思います。

最後になりますが、私と出会い関わって下さった方々、日頃より水上競技部を支えて下さる関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。競技人生の締めくくりとなる大学水泳をKGUSTで経験出来たことには本当に満足していますし、私の誇りです。

今後の関西学院大学水上競技部のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

4年間を振り返って

小嶋 虹佑

大学4年間の競技生活をもって、約15年間続けてきた水泳生活に1つの区切りを迎えました。水泳は人生の一部であり、当たり前の存在でありました。無心になり、泳ぐことだけに熱中することができたあの日々は、競技を引退し、とても大切な時間であったと再認識させられている今日この頃です。また、レースでしか味わうことのできない緊張やプレッシャーは、私を大きく成長させてくれるものでした。

大学での部活動は、私にとってかけがえのないものでした。チームメイトと目標に向かって共に努力し、切磋琢磨し続けた時間は楽しさや苦しさだけでなく、私に多くのことを教えてくれました。

この4年間、競技面、人間面ともに成長し続けることができました。

最初の3年間、中々結果が出ない日々を過ごしましたが、そんな中でも私を見捨てず助言をしていた先輩方や同期、スタッフ陣の心強い支えがあり、ラストイヤーではタイムを出すことができ、充実した毎日を過ごすことができました。ただ、シーズン目標の未達やジャパンオープンの未突破といった目標を達成して引退したかったです。ですが、詰めが甘いのも自分らしいと思うので、今後の人生においてはこういったことがないようにしていきたいです。また、指導者がいない関学水泳部での活動は、主体性の大切さを大いに学びました。自分で考え実行に移し、時には周りを頼りながら、競技に打ち込むことができました。この経験は、今後の人生において存分に活かしていきたいです。

様々な選択肢があった中で、自我を出して水泳をやりたいと言い、ここまで続けさせてくれた両親には感謝しかありません。水泳中心の生活において、多くの迷惑をかけましたが、支え続けてくれて感謝しています。また、ここまで指導し支えてくださった監督、コーチ、トレーナー、先輩方、同期、後輩、私に関わってくださったすべての方々のおかげで最後まで悔いなくやりきることができました。ありがとうございました。

今後の関学水泳部を担う後輩の素晴らしい結果報告を楽しみに待っています。

改めて、4年間本当にありがとうございました。

今後の水上競技部のご活躍をお祈り申し上げます。

今、水泳人生を振り返ると、決して順風満帆とは言えないものでした。小学 2 年生で選手コースを勧めてくれた両親には、感謝の気持ちだけでは足りません。ここまで続けてこられたのも、両親の支えがあったこそだと感じています。

大学での 4 年間は、競技面だけでなく、多くの人との出会いを通じて考え方の幅を広げ、人間としても成長できた時間だったと感じています。

ただ、競技成績だけで見れば決して満足できるものではありませんでした。4 年目に掲げた「インカレ A 決勝」という目標には遠く及ばず、むしろ 4 年間で出場したインカレの中で最も遅い記録となりました。自己ベストを更新した関西インカレ後の 1 か月は、今までで 1、2 を争うほど練習を積んだ自負があったため、悔いの残るレースとなり、今でもふと思い出してしまいます。ですが、誇れる結果もあります。大学 2 年次の日本選手権で B 決勝に進出できたことは、唯一胸を張れる実績です。

また、パートリーダーとしての活動は、自分の競泳に対する貪欲さをさらに大きくし、自分の強みを引き出してくれた経験でした。パートリーダーになる以前は「自分さえ良ければいい」という考えもありました。しかし、メニューを作成する立場となり、作り方はもちろん、選手一人ひとりを理解することに挑戦したことで、人間としても大きく成長できたと実感しています。「パート全員を自己ベスト更新へ導く」という目標のもとで取り組み、全員を達成させることはできませんでしたが、ジャパンオープンを突破させてあげたことや、何年ぶりにベストを更新する選手の姿を見られたことは、パートリーダーを務めて良かったと思える瞬間でした。

大学へ送り出してくださった OB の賀門コーチへ。4 年間で良い姿を見せられず、情けない結果ばかりでした。本当は成長した姿を見せたかったです。それでも高校時代に日本選手権へ出場させていただけたことや、数多くの知識を教えていただいたことには、感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

そして両親へ。20 年間水泳を続けられたのは、間違いなく二人の支えがあったからです。良い思いをさせてあげられたレースはわずかでしたが、それでも本当に充実した 20 年でした。ありがとう。

最後になりましたが、この 4 年間、私に関わってくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

4年間を振り返って

清水 歩空

毎年、偉大な先輩方の「4年間を振り返って」を拝読しては別れの寂しさと感銘を受けていたことを思い出します。そんな自分がもう「書く」立場になったことに時の流れの早さを実感しています。拙い文章ではありますが、最後までお読みいただけると幸いです。

今、改めて4年間を振り返ると多少の後悔はありますが、順風満帆な4年間だったと思います。兵庫県選手権で優勝することができた1回生。関西学生選手権で個人メダルをとることができた2回生。ずっと目標だった久世さんと日本学生選手権でB決勝に進むことができた3回生。主将として、挑んだ関西学生選手権で男子2位奪還。日本学生選手権800mフリーリレーでB決勝に進むことができた4回生。本当に多くの貴重な経験をさせていただいたと思います。

そして、主将として迎えたラストシーズンは僕にとってかけがえのない1年になりました。自分なりに、精一杯チームと向き合ってきましたが、まだまだやれることがあったというのが正直なところです。しかし、みんなお世辞かもしれませんが、「歩空さんが主将で良かった」「今までで一番良いチームだった」と言ってくれて。僕のレースを見て一緒に泣いてくれる仲間がいて。僕と一緒に悔しがってくれる仲間がいて。自分のことのように喜んでくれる仲間がいる。僕は本当に後輩同期に恵まれました。

競技結果としては何も残せず、不甲斐ない主将でした。こんな僕に1年間ついてきてくれてありがとう。関西学生選手権、日本学生選手権を通して、出場した選手全員が自分のためではなくKGUSTのために一緒に戦ってくれたことを誇りに思います。

みんなと高い目標に向かってやってきたこの1年間で得た、辛さも嬉しさも全て僕の財産です。

最後になりますが、ここまで素晴らしい環境で大学生活を過ごすことができたのは、日頃よりKGUSTを支援してくださっているOB・OGの皆様、並びに関係者の皆様のおかげです。

心より感謝申し上げます。そして水泳人生を通して関わってくださった全ての方々、本当にありがとうございました。また会いましょう。

四年間を振り返って、この四年間本当に色々なことがありました。私は、高校三年の時にインターハイで決勝を逃したことをきっかけに、大学水泳をするという決断をしました。入学当初は、ベストを更新し、関学記録、ジャパンオープンの制限を初めて突破するなど、大学水泳に大きな希望と期待を抱いていました。しかし、現実はその甘くなく、それからの四年間、一年目のベストを一度も更新することがないまま、引退を迎えてしまいました。泳ぐごとにベストタイムから遠のいていく、この四年間は正直本当に苦しかったです。練習で手を抜いているわけではありませんでしたし、ドライランドやウエイトトレーニングなど、自分なりに工夫して取り組み、時には高校時代のコーチにも意見を聞きながら、試行錯誤を重ねてきました。それでもタイムは伸びないどころか、どんどん遅くなっていきました。かつて勝っていた選手にも負けるようになり、他の選手がベストを更新し全国で活躍している姿を見る瞬間は、本当に苦しく、悔しかったです。ベストタイムで泳いでいれば優勝できていた試合、決勝に残れていた試合で簡単に予選落ちしてしまう、ベストさえ出せればと何度も思いました。全くと言っていいほど上手いかなかった大学水泳でした。それでも、心のどこかでラストレースは清々しく終われるものだと思っていました。そして、迎えた先日日本学生選手権では、有終の美を飾ろうと覚悟を決めて臨みましたが、それも叶いませんでした。最後のレースを終えて思ったのは、“悔しい”、それだけでした。やっぱり最後は結果を出して終わりたかった。これまでに水泳を通じてお世話になってきた大人の方々、先輩たち、チーム、そして両親に、最後は結果で恩返しがしたかった。最後にいい結果を報告したかった。決勝進出はできずともベストで締め括りたかった。レース後、ダウンプールで泳いでいる時は、そんな不甲斐ない気持ち、後悔、悔しさでいっぱいでした。

そんな、私にとって苦しい四年間でしたが、最後まで続けられたのは、水泳を通じた多くの出会いがあったからだと言えます。生意気で、時には失礼なこともしてきましたが、最後まで面倒を見てくれた先輩方、身近で頑張る姿を見てきた同期、こいつらのためなら自分も頑張ろうと思わせてくれる後輩達、そして、これらの環境を陰から支えてくださっていた、OBOG会の皆さま、後援会、監督など多くの人の支えがあったからこそ、最後まで諦めることなく競技を続けることが出来ました。また、留学先でも、水泳があったからこそ、多くの繋がりが生まれ、水泳のおかげでたくさんの良い経験が出来たと思っています。

競技面でいえば、苦しいこと、辛いことの方が多かったですが、その一方で、水泳から学んだことは多く、楽しいことや幸せな時間を過ごすこともできました。後悔も、苦しいことも、辛いことも、楽しいことも、幸せなことも全部、関西学院大学水上競技部競泳パートで過ごしたからこそ、経験することが出来ました。本当にありがとうございました。

最後にはなりましたが、関西学院大学体育会水上競技部の活動を支え、応援して下さった全ての人に感謝と御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

これからの、関西学院大学水上競技部競泳パートのさらなる活躍を祈念いたしております。

私が水上競技部競泳パートに入部したのは、大学 2 年の春でした。大学入学後は体育会のような本格的な活動に関わったことがなく、途中から入ることに対して大きな不安がありました。最初は分からないことだらけで、周りのスピードについていくのが精一杯でしたが、そんな私に丁寧に声をかけ、支えてくださった先輩方、そして一緒に頑張ってきた同期・後輩の存在が、本当に心の支えでした。

活動を通して感じたのは、「チームを支える」というマネージャーの仕事の奥深さです。選手がベストな状態で練習や試合に臨めるように準備を整えたり、記録を取ったりと、地道な作業の積み重ねがチームの成果につながっていることを実感しました。時には思うようにいかないこともありましたが、選手たちが努力を重ねる姿を間近で見られたことは、私にとって何よりの原動力でした。

また、日々の練習後に先輩や同期、後輩と過ごした時間も、今ではかけがえのない思い出です。疲れていても笑い合えたこと、時には一緒に悩みながら前を向けたこと。その一つひとつの瞬間が、私の大学生活を豊かにしてくれました。

途中入部というハンデを感じることもありましたが、その分、自分にできることを探し、工夫しながら取り組むことで成長できたように思います。マネージャーとしての仕事を通じて、「誰かの頑張りを支えることの尊さ」や「自分がチームの一員であることの誇り」を強く感じました。

マネージャーという立場を経験したことで、自分の視野も広がり、相手を思いやる姿勢や臨機応変に動く力が身につきました。これから先の人生においても、この経験で培った「人を支える力」や「努力を惜しまない姿勢」を大切にしていきたいです。

最後になりますが、日頃からご支援くださった OBOG の皆さま、監督・コーチ、そしてともに活動したチームメイトの皆さんに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからも水上競技部のさらなる発展と、後輩たちの活躍を心から応援しています。

4 年間を振り返って

山城 夢芽

4 年間ありがとうございました。

水上競技部で過ごした時間は、競技者としても人としても大きく成長できた時間でした。競技面では、これまで以上に自分と真剣に向き合い、競技に全力で打ち込むことができました。これまではコーチが常にそばにいて指導を受けるのが当たり前でしたが、大学に入ってから環境が大きく変わり、自分で考えて行動することが求められました。自分の課題を見つけ、誰に言われなくても主体的に取り組むようになったことが、自分自身の成長につながったと思います。そして、私が笑顔でいることができたのは、間違いなく仲間のおかげです。

仲間とともに挑み、支え合いながら戦う喜びを知れたことは、私にとって大きな財産です。高校時代には得られなかった「チームで戦う意味」を実感できた 4 年間であり、この学びは今後の人生においても必ず生きると感じています。

楽しい水泳に出会わせてくれて、長い間応援してくれていた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。また、コーチやチームメイトの多くの方のおかげで、大学まで水泳を続け、やり切ることができました。多くの人たちに支えられて、とても恵まれた 4 年間になりました。

本当にありがとうございました。

これからの KGUST のご活躍を心からお祈り申し上げます。

私は水上競技部として過ごした 4 年間を通して、高校生の選手時代とは違った貴重な経験をさせていただきました。部活動内では、マネージャー、副務、主務を任せていただきました。また、学生連盟にも所属し、最終シーズンは情報システム主任として大会の裏方を経験することもできました。高校生までは選手として競泳に関わっていたため、今までに無かった見方が沢山あり毎日が新鮮で充実していました。正直な所、選手として続けたかったという思いは捨てきれませんが、実力や知識、経験もある同期や先輩、後輩達、そして監督やコーチ、OG・OB さんに自分 1 人では見られない景色を沢山見せていただきました。この経験を活かし、この後の人生を歩んでいきたいと思います。ありがとうございました。

4 年間を振り返って

渡瀬 夢花里

関西学院大学水上競技部での4年間で感じたことを振り返ろうと思います。

私はもともと大学で水泳をするつもりはありませんでした。しかし、高3の2月にベストを出せたことでまだやれるのではないかと感じたこと、3月のJOでベストを出せなかった悔しさから水泳を高校できっぱり諦めることができなかったのだと思います。入学後、多くの先輩方に勧誘を受け、気づいたら入部していました。軽い気持ちで入部したことや、関学での女子の大学水泳ではベストは出せないという噂も聞いていたこともあり、4年間は楽しく水泳しようと思っていました。全中もインターハイも出場していない、JOも1回だけ、という私は、輝かしい戦績を引っ提げてきた同期に圧倒されながらも少しでも追いつきたいという気持ちで1回生の夏まで突っ走ったおかげで、入部してから3か月で200mは3秒も速くなれました。1回生からリレーメンバーにも選んでいただき、チームメイトと力を合わせて頑張ることの楽しさを学ぶこともできました。1回生の冬以降は怪我や実習が重なり、練習もできず、もちろんタイムも出なくなり、周りや環境のせいにしていました。大学生になると全ては自分の責任です。人生初スランプはしんどすぎましたが、自分の速くなりたいという気持ちに気づくことができました。そこからは、関学水泳部の学生主体という特権を生かし、自分自身で考え、試行錯誤し、良かったら継続する、合わなかったら切り捨てるということを繰り返しました。おかげでラストシーズンに短水路100mと長水路200m・100mと専門種目とリレーの自由形で数年ぶりにベストを更新でき、自分がやってきたことは間違っていなかったのだと強く思いました。大学生という「大人」だからこそ、コーチがいない環境だからこそ、人とやり方は違っても「自分で考え、実践する」ことが大切なのだと改めて学ぶことができました。私には学生主体のスタイルが合っていたみたいです。ラスト3か月は改めて水泳の楽しさに気づきこともできました。ジャパンオープンの標準も切れませんでしたし、最後のインカレでは、自己ベストから大幅に遅れたり、ベストプラス0.04というタイムを出したりしましたが、4年間、自分なりに全力で努力し、取り組んだからこそ悔いは一切なく、清々しく水泳人生を終えることができました。楽しかったという一言ではまとめることができないほど辛いことが多く、何度も辞めようと思いましたが、多くの縁に恵まれ、引退して1か月たった今4年間の経験は幸せだったと感ずることができています。4年間で経験したこと、感じたことすべては関学水泳部に入部したからこそ得ることができました。後輩のみんなには、4回生になってもベストを出せることを証明することができたと思います。たとえ大きな目標を達成できなくても、自分で決めた目標や課題を達成し、やりきったと思えるほどの努力をして清々しく引退できることを願っています。最後になりましたが、お世話になった方々に心よりお礼申し上げます。今後の皆様のご活躍をお祈りさせていただきます。

4年間を振り返って

田中 楓史郎

水上競技部水球パートでの4年間をとおして、様々なことを経験し、成長することができました。大学1年生の時、1人でドキドキしながら地下プールに行き、水球の見学をしたことを昨日のここのように覚えていてます。水の中で強烈なシュートを打つ姿などを目の前で見て、とてもカッコいいスポーツだなと思いました。部の雰囲気もアットホームで初心者も大歓迎だったので入部を決めました。

私は、一つ上のキーパーをしていた竹中さんに憧れ、入部してすぐにキーパーになりました。巻き足もボールを投げることも全然できなかった自分に竹中さんは丁寧に指導してくれました。竹中さんは僕の師匠です。師匠ご指導ありがとうございました！

4年生になってからは、試合に出れるようになり、師匠のように守護神になれたかなと思います。チームの目標であった関西制覇をすることはできませんでしたが、12年ぶりにインカレに出場することができ、とても貴重な経験をすることができました。後輩たちがかなり強かったので、プレーの面ではかなり助けられていた4年生だけど、そんな自分たちについてきてくれた後輩たち本当にありがとう。そして、4年間共に切磋琢磨してきた同期のみんなもありがとう。みんな最高の仲間ばい。水球パートに入って本当によかったです。

最後になりますが、これまで水上競技部を支えてくださった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。4年間本当にお世話になりました。

4 年間の水球部での生活を振り返った時に、自分が最も学んだと実感していることは「物事に対する向き合い方」です。大学の水球部は高校までとはまるで違い、考えることがとても多かったです。その中でも私は将来のことや、私生活のことなど悩むことも増ええ、水球や水球部とどう向き合っているかわからなくなっていました。私はもともとメンタルが強い方ではなく、むしろ様々なことに感情を揺らされたり、必要以上に心配をしてしまったり、気持ちが途中で折れそうになることが多い性格でした。実際にこの水球部でもそのような場面はたくさんあり、3 年生の頃に半年近く休部も経験しました。別に今になってメンタルが強くなったとも思っていない。しかし、ここまで辞めずに部活を続けてこられたこと、様々な場面で持ちこたえられたことは、同期のおかげでした。自分にとって同期は嫌な練習に行くための理由であり、落ち込んだ時に相談でき、大してパツとしない大学生活を楽しくさせてくれたかけがえのない仲間です。私の大学生活 4 年間の思い出のほとんどは水球部とその同期にあります。

知っての通り私たちの代は水球のプレーという面ではほとんど部活に貢献できませんでした。同期の半分が大学から水球を始めた初心者で、経験者も大した高校を出たわけでもなければ大きな大会を経験したわけでもありませんでした。しかし、関カレの最終戦で見た同期のプレーは上手じゃなくても、最後まであきらめない粘りのあるプレーでした。そして、何より 4 年間水球をやり切った成果を出せていることに感動した一方で、自分の現状や無力さに打ちのめされました。自分も休部することなく水球を続けていたらとか、休部したことを理由にせずその後も頑張っていたらということを思ってしまいました。しかし、この経験も自分にとっては「自分の心の中のハードルと向き合うこと」とはどういうことを考えるきっかけになったよい機会だったと思っています。

水球部での 4 年間は決して順風満帆ではなく、多くの葛藤や後悔もありましたが、それ以上に仲間と共に挑戦し続けた日々はかけがえのない時間でした。自分の弱さに何度も直面しながらも、辞めずにやり切れたこと、そして最後に同期と同じ舞台に立てたことは大きな財産です。水球を通して学んだ「物事に対する向き合い方」と「心のハードルとどう向き合うか」という姿勢は、これからの人生においても自分を支えてくれるはずです。

最後に、この 4 年間私たちを支えてくださった監督やコーチ、OB の皆さまに心から感謝申し上げます。厳しい中にも常に温かく見守っていただき、時に叱咤し、時に励ましの言葉をかけてくださったことが私の大きな支えとなりました。また、技術も精神面も多くを教えてくださった先輩方、一緒に努力し合えた同期、そして新しい風を吹き込んでくれた後輩たちにも深く感謝しています。この環境で水球に打ち込むことができたことを誇りに思い、今後もここで学んだことを胸に歩んでいきたいと思っています。

水上競技部水球パートでの4年間を振り返ると、本当に多くのことを学び、成長することができたと感じています。私は高校時代から水球部のマネージャーをしており、大学でも続けたいと思っていました。入学後に見学させていただいた際、先輩方が温かく迎え入れてくださり、楽しそうに活動する姿を見て、この部で頑張りたいと強く思ったことを覚えています。大学での活動は、高校時代と比べて学生主体で進めることが大きな特徴でした。自分たちの意見が反映される一方、全員の意見をまとめて方向性を決めていくことは簡単ではなく、苦労も多くありました。しかし、その分やりがいも大きく、とても濃い時間を過ごすことができました。

1年生のときの関西学生選手権では2部3位という成績でしたが、4年生の最後には1部3位にまで順位を上げることができました。これは先輩方の努力の積み重ねや、力のある後輩たちのおかげだと感じています。特にスポーツ推薦で入部した後輩たちが加わりチームは強くなりましたが、プレースタイルや考え方の違いから衝突も多くありました。私は最高学年のマネージャーが一人だったこともありベンチに入る機会が多かったため、その雰囲気の間近に感じ、何もできないことを悔しく感じる時期もありました。それでも全員で「関西制覇をし、インカレに出場する」という目標を掲げて話し合いを重ねる中で、徐々にチームの雰囲気も変わったのではないかと思います。水球はチームプレーだからこそ、マネージャー含め全員が同じ方向を向いて活動していくことの大切さを強く学ぶことができました。関西制覇は果たせず悔しい気持ちもありますが、最後の年にインカレという大きな舞台に連れて行ってくれた選手たちには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、ベンチから皆が一生懸命戦っている姿を見ることができたのはマネージャーとしてすごく嬉しかったです。

最後に、これまで支えてくださった監督、コーチの皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後とも、水上競技部にご支援よろしくお願い致します。

このたび水上競技部水球パートを引退することになりました。振り返ってみると、あっという間の時間でした。入部当初は練習についていけず、何度も心が折れそうになりました。それでも、仲間と声を掛け合い、顧問の先生方にご指導いただきながら続けていくうちに、少しずつ成長を実感できるようになりました。

日々の練習は決して楽なものではありませんでした。基礎練習を繰り返す中で体力的にも精神的にも限界を感じたこともありました。それでも「もっと上手になりたい」「仲間と勝ちたい」という思いがあったからこそ、最後まで努力を続けることができたのだと思います。試合では勝って喜んだ日もあれば、負けて悔しい思いをした日もありました。特に最後の大会では、全てをかけて挑んだ分、勝敗に関係なく仲間と味わった達成感は忘れられません。仲間と共に泣き、笑い、全力で取り組んできた時間は、私にとって一生の宝物です。

この部活動を通して学んだことは数え切れないほどあります。技術や体力の向上はもちろんですが、仲間と協力する大切さ、困難に立ち向かう強さ、そして最後までやり抜くことの価値を学びました。これからの人生でも、この経験は必ず自分を支えてくれると信じています。

最後に、ここまで続けることができたのは、最後まで支えてくださった監督、コーチの皆様、応援してくださった関係者の皆様、そして共に汗を流し努力してきた仲間のおかげです。皆さんへの感謝の気持ちを胸に、これからも努力を惜しまず歩んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

水球部での活動を振り返ると、困難も多くありましたが、それ以上に多くの方々に支えられ、成長させていただいた時間でした。

私は2回生から入部し、周囲との実力差に悩み、思うように力を発揮できず、途中で気持ちが折れてしまうこともありました。そのような中で、監督・コーチ、そして先輩、同期、後輩の皆に支えられ、励まされながら活動を続けることができました。皆さんのおかげで、自身の弱さと向き合い、成長すべき点に気づくことができたことは、私にとって大きな財産です。また、インカレに連れて行っていただき、全国の舞台を実際に見られたことは、非常に貴重で忘れられない経験となりました。自分一人では決して見ることのできなかった景色を見せていただき、心から感謝しています。

これまでの活動を通して、水球パートの仲間が存在、そして田中監督、岡田コーチ、荒木コーチ、足立コーチの温かいご指導とご支援に、改めて深く感謝申し上げます。自分がここまで続けてこられたのは、間違いなく皆さんのお力添えがあったからこそです。

最後になりますが、これまで水上競技部を支えてくださった関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。3年間本当にお世話になりました。

4年間、関学水上競技部の一員として過ごせたこと、誇りに思います。

たくさんの貴重な経験、青春を味わえたと思います。かえがけのない仲間達との出会いや、社会で生きていく上での学び、幅広くたくさんの経験ができました。主将も務め、辛く、しんどく、何度も辞めたいと考えることも多くありました。しかし、仲間と共にやり遂げ、過ごしてきたこの4年間に一切の後悔はありません。この部に入ってよかったと心から思っています。

入部した頃、人数も少なく部活としての規模は小さく、まるでサークルと部活の間のような組織でした。正直、部員それぞれの目標や意識はバラバラで今の後輩達には見せられないような雰囲気でした。それでも監督コーチの方々、先輩達の試行錯誤を経て、リーダー制を導入し、勝ちに拘り、質の高い練習を行う組織へと変わっていきました。そこからは、一部昇格を達成し、楽しみながらも質の高い練習、一人一人が活きるチームとなっていきました。そして四年目、自分でも驚きですが、関西制覇、全国出場を目指し、全国出場を果たすことになるとは、一年、二年の頃の自分は微塵も思っていなかったと思います。経験者として入部しましたが、高校は弱小校であり、大学から仲間になった経験者との実力差に驚愕したのを覚えています。全国大会は自分とは縁のないイベントなどというふうに捉えていました。しかし、時が経つ事に成長している自分、チームとして強くなっていくことに楽しさや面白さを見いだせ、結果を出したいという気持ちを強く持ち、水球を楽しみながら努力して来られました。

私は決してプレイヤーとしてレベルは高くありませんでした。後輩に頼りっぱなしの4年生であり、主将でしたが、このチームの主将になれたこと、本当に嬉しく思います。4年生を全国大会に連れていきたい。という後輩たちの言葉を聞いた時、どれほど嬉しく、どれほど感極まったことか、今でも忘れません。ありがとう。

これからどんどん強く、逞しくなるであろう関学水球ですが、目指す場所、レベルが上がれば上がるほど、問題や課題は生まれてくると思います。張り詰めた空気感や、伸び悩むこともあると思います。でも、みんななら大丈夫。志しが同じ仲間のみんなならきっとそれすら糧にしてさらに強くなれると思います。

4年間を通して、達成できた目標、出来なかった目標、それぞれありますが、当たり前のように活動してこられたことの当たり前じゃなさ、仲間がいることの大切さ、目標を失わずに努力を諦めないこと、たくさんの事を学べました。社会に出てからもここで学んだことは必ず活きると思います。

楽しいことも、悔しいことも、辛いことも、たくさんのことがあった4年間でしたが、私は心の底から関学水球で良かったと思っています。同期、後輩達本当にありがとう。監督コーチ、OB・OGの皆様、たくさんのご声援、ご支援ありがとうございました。4年間携わってくれた全ての方に感謝しています。

2.部員名鑑

現役部員の自己紹介です。各々の性格が現われていると思います。
お楽しみください。

- | |
|----------------------------------|
| ① 名前 |
| ② 生年月日 |
| ③ 学部・学年 |
| ④ 出身校・出身スイミング |
| ⑤ 競泳：専門種目、長水路のベストタイム
水球：ポジション |
| ⑥ 一言 |

【競泳パート】

- ①赤木彩羽
②2003年5月27日
③法学部・4年
④豊中高等学校
⑤マネージャー
⑥KGUSTの一員として大学生活を送れて、充実した4年間でした。ありがとうございました。

- ①伊藤寛記
②2003年6月22日
③人間福祉学部・4年
④関西学院高等部・NSI 神鉄
⑤200m 自由形 1.55.87
400m 自由形 4.06.84
⑥僕の成長が皆さんの希望になり、背中を後押しできれば幸いです。4年間ありがとうございました。

- ①大平理登
②2003年7月20日
③法学部・4年
④須磨学園高等学校・JSS 北神戸スイミングスクール
⑤200m 個人メドレー・2.04.55
⑥ありがとうございました。

- ①垣内柊人
②2003年12月29日
③商学部・4年
④関西学院高等部・パシオ福島
⑤200m 自由形 1.54.65
400m 自由形 4.03.72
⑥後悔無く競技をやり切れました。4年間ありがとうございました。

①小嶋虹佑
②2003年9月21日
③経済学部・4年
④名古屋高等学校・BIG 東海
⑤50m 自由形 23.63
⑥楽しく充実した4年間を過ごすことができました。ありがとうございました。

①重塚笙
②2003年7月24日
③商学部・4年
④報徳学園高校・コナミ西宮
⑤100m 平泳ぎ 1.02.16
200m 平泳ぎ 2.14.41
⑥大好きなチームです。ありがとうございました。

①清水歩空
②2003年12月23日
③社会学部・4年
④報徳学園高校・コナミ西宮
⑤100m 自由形 51.36
200m 自由形 1.52.07
⑥最高のチームでした。4年間ありがとうございました。

①永井悠介
②2003年11月23日
③国際学部・4年
④洛南高等学校・セントラル太秦
⑤100m バタフライ 53.87
200m バタフライ 2.00.44
⑥思い描いていた大学水泳ではありませんでしたが、楽しかったです。
4年間、ありがとうございました。

①安田想桜
②2004年3月4日
③人間福祉学部・4年
④兵庫県立夢野台高等学校
⑤マネージャー
⑥水泳経験が無い中での入部でしたが、沢山の方々に支えられここまでやっていくことができました。水泳部に入部して本当に良かったです。ありがとうございました。

①山城夢芽
②2003年12月12日
③経済学部・4年
④星林高等学校・パルポートワカヤマ
⑤背泳ぎ・100m1.07.60
200m 2.24.79
⑥4年間ありがとうございました。

①湯田平航樹
②2003年10月13日
③商学部・4年
④福岡県立京都高等学校・KSG ときわ曾根
⑤マネージャー
⑥大学水泳に関わる事ができ幸せでした。ありがとうございました。

①渡瀬夢花里
②2003年6月26日
③教育学部・4年
④関西学院高等部・尼崎市スポーツ振興事業団
⑤200m バタフライ 2.14.98
100m バタフライ 1.01.99
⑥楽しくもあり苦しい大学水泳でした。関わってくださった方々、ありがとうございました。

- ①景山一華
- ②2005 年 3 月 27 日
- ③商学部・3 年
- ④丸亀高校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手から信頼されるマネージャーを目指します。

- ①滝澤優菜
- ②2004 年 9 月 7 日
- ③教育学部・3 年
- ④関西学院高等部
- ⑤マネージャー
- ⑥チームに必要とされるマネージャーを目指します。

- ①武本航志
- ②2004 年 11 月 14 日
- ③商学部・3 年
- ④関西学院高等部・マックススポーツ加古川
- ⑤100m 平泳ぎ 1.03.12
200m 平泳ぎ 2.18.29
- ⑥チームを引っ張れる存在になります。

- ①津田悠生
- ②2004 年 12 月 20 日
- ③人間福祉学部・3 年
- ④淡路三原高校・NSI 南あわじ
- ⑤200m 自由形 1.58.21
- ⑥速く泳げるようになります。

- ①鉄川舞侑
- ②2004 年 8 月 8 日
- ③人間福祉学部・3 年
- ④国際高校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手の力を最大限引き出すマネージャーになります。

- ①中谷志優
- ②2004 年 10 月 18 日
- ③社会学部・3 年
- ④桐光学園高等学校・サギヌマ SC 鷺沼
- ⑤50m 自由形 23.27
100m 自由形 51.55
- ⑥頼られる存在になります。

- ①丸山碧斗
- ②2004 年 7 月 30 日
- ③法学部・3 年
- ④桃山学院高等学校・NSITaiken
- ⑤100m 平泳ぎ 1.03.81
200m 自由形 1.53.29
- ⑥強い選手になります。

- ①村田李々冬
- ②2004 年 12 月 15 日
- ③商学部・3 年
- ④豊川高校・奄美 SS
- ⑤100m 背泳ぎ 58.15
200m 背泳ぎ 2.07.20
- ⑥見ていてワクワクするようなレースをします。

- ①森谷郁海
- ②2005 年 1 月 14 日
- ③国際学部・3 年
- ④洛南高校・NSI マナティー
- ⑤200m 個人メドレー 2.06.04
200m 平泳ぎ 2.16.60
- ⑥チームに貢献できる選手を目指します。

- ①安藤逢涼
- ②2006 年 1 月 25 日
- ③社会学部・2 年
- ④桃山学院高校
- ⑤マネージャー
- ⑥タフになります。

①石田拓也
②2005 年 7 月 8 日
③工学部・2 年
④豊岡高校・NSI 豊岡
⑤400m 自由形 4.11.03
⑥速く泳げるよう努力します。

①出羽晃也
②2005 年 10 月 24 日
③社会学部・2 年
④三田学園高校・JSS 北神戸
⑤400m 自由形 3.56.62
200m 自由形 1.51.23
⑥行動で示せる人間になります。

①太田結衣
②2006 年 1 月 10 日
③教育学部・2 年
④和歌山県立向陽高等学校
⑤マネージャー
⑥チームの力になります。

①齊藤瑛
②2005 年 10 月 20 日
③国際学部・2 年
④須磨学園高等学校・イトマン西神戸
⑤200m 個人メドレー 2.07.06
400m 個人メドレー 4.28.76
⑥何事も最後までやり抜きます。

①坂口ひなた
②2006 年 2 月 24 日
③商学部・2 年
④福岡県立八幡高等学校
⑤マネージャー
⑥みんなのために頑張ります。

①左脇弘大
②2005 年 5 月 18 日
③商学部・2 年
④報徳学園高校・JSS 北神戸
⑤100m 自由形 52.01
⑥頑張ります。

①高原桜唯
②2006 年 3 月 14 日
③社会学部・2 年
④福岡中央高校・イトマン長住
⑤400m 個人メドレー 5.06.98
800m 自由形 9.07.10
⑥チームに貢献します。

①田中廉汰朗
②2006 年 1 月 8 日
③法学部・2 年
④桃山学院高校・イトマン滝谷
⑤100m バタフライ 54.91
200m バタフライ 2.01.43
⑥這い上がります。

①前原百花
②2005 年 11 月 22 日
③法学部・2 年
④広島市立基町高等学校
⑤マネージャー
⑥少しでも選手の力になれるよう、周りをみて行動します。

①宮河夏澄
②2005 年 7 月 5 日
③商学部・2 年
④関西学院高等部
⑤マネージャー
⑥人の倍仕事をします。

- ①伊崎凜太郎
- ②2007 年 1 月 8 日
- ③人間福祉学部・1 年
- ④大阪府立高槻北高校・サンケイ ST
- ⑤ 50m 自由形 23.51
100m 自由形 51.82
- ⑥中谷志優さんに勝ちます。

- ①江夏遼
- ②2006 年 5 月 10 日
- ③商学部・1 年
- ④桃山学院高等学校・JSS エビス
- ⑤1500m 自由形 16.15.55
- ⑥同期に追いつきます。

- ①鮫島羚杏
- ②2007 年 4 月 1 日
- ③教育学部・1 年
- ④吉祥女子高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥チームのために全力を尽くします。

- ①田中秀路
- ②2006 年 12 月 19 日
- ③法学部・1 年
- ④関西学院高等部・枚方 SS 香里
- ⑤100m 背泳ぎ 57.34
200m 背泳ぎ 2.03.82
- ⑥頑張ります。

- ①辻翔太
- ②2006 年 9 月 17 日
- ③社会学部・1 年
- ④関西学院高等部・枚方 SS 香里
- ⑤100m バタフライ 55.96
200m 個人メドレー 2.08.49
- ⑥長水路で泳げるようになります。

- ①鶴田健介
- ②2006 年 12 月 31 日
- ③国際学部・1 年
- ④尼崎市立尼崎高等学校
- ⑤200m バタフライ 2.03.02
- ⑥一生懸命泳ぎます。

- ①西山明歩
- ②2006 年 12 月 27 日
- ③理学部・1 年
- ④東邦高等学校・KL スポーツ西春日井
- ⑤マネージャー
- ⑥笑顔で明るいサポートします。

- ①馬場匠汰
- ②2006 年 5 月 13 日
- ③法学部・1 年
- ④桃山学院高等学校・JSS 東花園
- ⑤200m 平泳ぎ 2.16.42
- ⑥美しく泳ぎます。

- ①福本莉子
- ②2006 年 9 月 12 日
- ③社会学部・1 年
- ④帝塚山学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥チームの頼れる存在になります。

- ①藤井美緒
- ②2006 年 8 月 4 日
- ③社会学部・1 年
- ④帝塚山学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥ 精一杯サポートします。

- ①八坂康生
- ②2006 年 4 月 22 日
- ③社会学部・1 年
- ④桃山学院高等学校・JSS はびきの
- ⑤100m バタフライ 55.20
- ⑥速く泳げるようになります。

- ①山本空
- ②2006 年 4 月 16 日
- ③商学部・1 年
- ④関西大学北陽高等学校
- ⑤100m 背泳ぎ 56.47
- ⑥期待されるような選手になります。

【水球パート】

- ①田中楓史郎
- ②2003 年 4 月 2 日
- ③経済学部・4 年
- ④熊本県私立九州学院高等学校
- ⑤ゴールキーパー
- ⑥カッコいいフォームでシュートがしたい！！

- ①辻本匠
- ②2003 年 8 月 7 日
- ③総合政策学部・4 年
- ④向陽高校
- ⑤なし
- ⑥最後の 1 年がんばります

- ①町井佑衣
- ②2003 年 10 月 7 日
- ③教育学部・4 年
- ④向陽高校
- ⑤マネージャー
- ⑥選手たちを全力でサポートし、全力で応援します！

- ①山上真雄
- ②2003 年 12 月 12 日
- ③教育学部・4 年
- ④清風高校
- ⑤マネージャー
- ⑥裏方としてチームが目標達成の為に練習にスムーズに取り組めるよう努力します。

- ①村上晴飛
- ②2003 年 08 月 22 日
- ③社会学部・4 年
- ④筑紫高等学校
- ⑤ドライバー
- ⑥ありがとうございましたなか

- ①和田涼一郎
- ②2003 年 9 月 14 日
- ③工学部・4 年
- ④滝川高校
- ⑤ドライバー
- ⑥水球人生の集大成、有終の美を飾ります

- ①荒木優吾
- ②2004 年 7 月 14 日
- ③文学部・3 年
- ④帝塚山学院泉ヶ丘
- ⑤ドライバー
- ⑥ヤルキマシマシ

- ①石田明日花
- ②2004 年 11 月 11 日
- ③法学部・3 年
- ④啓明学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥頼れるマネージャーになります！

①鈴木創太
②2004 年 09 月 24 日
③経済学部・3 年
④啓明学院高等学校
⑤フローター
⑥Vamosssss

①津田風音
②2004 年 7 月 26 日
③経済学部・3 年
④追手門学院高等学校
⑤右サイド
⑥誰よりも声出して頑張ります！

①宮田夢大
②2004 年 4 月 26 日
③文学部・3 年
④東北学院高等学校
⑤右サイド
⑥氣！

①浅田峻平
②2005 年 5 月 25 日
③経済学部・2 年
④啓明学院高等学校
⑤ゴールキーパー
⑥大学はじめとは思わせないように頑張ります！

①井上恵輔
②2005 年 8 月 7 日
③経済学部・2 年
④京都踏水会・鳥羽高校
⑤右サイド
⑥やったります

①神戸哉人
②2006 年 2 月 23 日
③社会学部・2 年
④名古屋高校
⑤左サイド
⑥文武両道に頑張ります。

①吉川大地
②2005 月 10 月 3 日
③商学部・2 年
④名古屋高校
⑤フローターバック
⑥がんばります

①阪本陽菜
②2006 年 1 月 26 日
③国際学部・2 年
④神戸国際高等学校
⑤マネージャー
⑥選手を全力でサポートします！

①友久一輝
②2005 年 8 月 9 日
③文学部・2 年
④大谷高校・京都踏水会学園
⑤フローター
⑥頑張ります！

①深井浩大
②2006 年 2 月 22 日
③工学部・2 年
④兵庫県立尼崎北高等学校
⑤左サイド
⑥チームの力になれるよう精一杯頑張ります！

- ①濱田梨穂
- ②2005 年 4 月 14 日
- ③教育学部・2 年
- ④帝塚山学院高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥よろしくお願いします。

- ①福山日南乃
- ②2006 年 2 月 6 日
- ③文学部・2 年
- ④夢野台高等学校
- ⑤マネージャー
- ⑥サポート頑張ります

- ①藤分淳伸
- ②2005 年 8 月 15 日
- ③商学部・2 年
- ④啓明学院高等学校、トライアックス明石
- ⑤左サイド
- ⑥僕たちはどんどん強くなるので楽しみにしておいてください！！

- ①秋田凜太
- ②2006 年 7 月 11 日
- ③教育学部・1 年
- ④箕面高校
- ⑤ゴールキーパー
- ⑥がんばります

- ①安部隆之介
- ②2006 年 10 月 25 日
- ③法学部・1 年
- ④関西学院高等部
- ⑤ドライバー
- ⑥精一杯頑張ります！

- ①岡本宝生
- ②2006 年 7 月 2 日
- ③経済学部・1 年
- ④鳥羽高校
- ⑤フローターバック
- ⑥がんばります

- ①鍛治愛子
- ②2006 年 12 月 25 日
- ③人間福祉学部・1 年
- ④帝塚山学院高校
- ⑤マネージャー
- ⑥頑張ります

- ①古屋野舜士
- ②2005 年 8 月 2 日
- ③工学部・1 年
- ④広島学院高校・広島水球クラブ
- ⑤ゴールキーパー
- ⑥頑張ります。

【飛込】

- ①嶋崎菜乃
- ②2006 年 11 月 7 日
- ③社会学部・1 年
- ④土佐塾高等学校・高知スイミングクラブ
- ⑤飛込
- ⑥見ていて楽しい演技ができるように頑張ります。

IV.付録

1.水上競技部会計報告

期間：2024年10月1日～2025年9月30日

(単位：円)

支出の部		収入の部	
登録・エントリー代	1,382,100	前年度繰越金	1,653,868
遠征・合宿費	7,427,560	部費収入	1,680,000
消耗品費	2,576,764	登録・エントリー代現役負担金収入	1,201,930
備品購入費	452,677	その他現役負担金収入	8,621,895
施設利用料	567,347	大学援助金収入	3,371,710
旅費交通費	367,023	受取利息	2192
通信費・運送費	135,780	アルバイト収入	308,400
印刷製本費	25,217	寄付収入	24,000
保険料	94,750		
雑費	543,871		
翌年度繰越金	3,290,906		
支出 計	16,863,995	収入 計	16,863,995

※消耗品費にはジャージやTシャツ等の現役自己負担分が含まれます。

※大学援助金にはスポーツ活動支援募金の取崩しは含まれていません。

学校法人関西学院が管理しているスポーツ活動支援募金(水上競技部専用。弦泳会費等の溜まり分)の残高は、次年度以降に順次執行していく予定です。

2.歴代十傑表 (2025 年 9 月現在)

【男子】

●50M自由形

1.	森下 翔太	22"86	R. 3	関西学生
2.	森 元秀	23"04	H. 25	日本学生
3.	平松 聖隆	23"12	H. 31	関西学生
4.	久世 航大	23"16	R. 5	日本学生
5.	原 嘉一	23"24	H. 29	関西学生
6.	三原 慶悟	23"26	R. 4	兵庫県選手権
7.	樋口 拓夢	23"27	H. 26	日本学生
7.	中谷 志優	23"27	R. 7	中部・関西
9.	崎久保 拓洋	23"32	H. 25	関西学生
10.	桑本 貴隆	23"50	H. 21	関西学生

●100M自由形

1.	森下 翔太	49"93	R. 3	兵庫県選手権
2.	平松 聖隆	49"96	H. 31	岡山県選手権
3.	樋口 拓夢	50"66	H. 25	関西学生
4.	中村 豊	50"73	H. 24	関西学生
5.	堀 敬貴	50"91	R. 4	関西学生
6.	三原 慶悟	51"03	R. 5	兵庫県選手権
7.	久世 航大	51"16	R. 5	日本学生
8.	清水 歩空	51"36	R. 6	日本学生
9.	崎久保 拓洋	51"37	H. 26	日本学生
10.	高 大輔	51"39	R. 4	兵庫県長水路

●200M自由形

1.	森下 翔太	1'51"02	H. 31	関西学生
2.	出羽 晃也	1'51"23	R. 7	日本学生
3.	中村 豊	1'51"76	H. 24	関西学生
4.	増田 達哉	1'51"93	R. 4	関西学生 CS
5.	長谷川 大輔	1'52"24	H. 28	日本学生
6.	清水 歩空	1'52"25	R. 6	日本学生
7.	平松 聖隆	1'52"43	H. 31	岡山県選手権
8.	前家 空	1'52"77	H. 26	関西学生
9.	西桶 正倫	1'52"84	H. 27	関西学生
10.	原 嘉一	1'52"99	H. 29	兵庫県長水路

●400M自由形

1.	森芳 慎平	3'55"67	H. 26	ジャパンオープン
2.	出羽 晃也	3'56"62	R. 7	兵庫県選
3.	長谷川 大輔	3'57"57	H. 28	日本学生
4.	北山 拓人	3'58"01	H. 26	関西学生
5.	佐野 武	3'58"29	H. 27	兵庫県長水路
6.	増田 達哉	3'59"46	R. 4	兵庫県選手権
7.	中村 豊	3'59"66	H. 21	関西学生
8.	原 嘉一	4'00"10	H. 27	京都府選手権
9.	森下 翔太	4'00"90	H. 31	関西学生
10.	山田 晃誠	4'01"56	R. 5	関西学生 CS

●1500M自由形

1.	森芳 慎平	15'24"47	H. 26	日本学生
2.	佐野 武	15'27"39	H. 27	関西学生
3.	北山 拓人	15'44"38	H. 26	日本学生
4.	長谷川 大輔	15'51"08	H. 26	関西プレインカレ
5.	原 嘉一	15'55"40	H. 27	関西プレインカレ
6.	中村 豊	16'07"44	H. 21	兵庫県選手権
7.	岡村 翼	16'11"31	H. 29	神戸市民
8.	山田 晃誠	16'12"54	R. 6	関西学生
9.	加藤 拓也	16'19"82	H. 23	関西学生
10.	大門 慶悟	16'21"55	R. 5	関西学生

●100M平泳ぎ

1.	平井 佑典	1'01"05	R. 4	関西学生
2.	重塚 笙	1'02"16	R. 7	関西学生 CS
3.	和田 真哉	1'02"71	H. 27	関西学生
4.	瀬角 健太	1'02"76	H. 27	日本学生
5.	和佐田 勝久	1'02"87	H. 21	関西学生
6.	武本 航志	1'03"12	R. 7	関西学生
7.	大谷 洸	1'03"16	H. 31	関西学生 CS
8.	馬場 匠汰	1'03"41	R. 7	関西学生 CS
9.	出井 義也	1'03"64	H. 25	関西学生 CS
10.	木本 聡	1'03"80	H. 15	日本学生

●200M平泳ぎ

1.	重塚 笙	2'14"41	R. 7	関西学生
2.	和佐田 勝久	2'14"45	H. 21	関西学生
3.	平井 佑典	2'16"40	R. 4	関西学生
4.	大谷 洸	2'16"49	H. 30	関西学生 CS
5.	馬場 匠汰	2'16"58	R. 7	関西学生 CS
6.	森谷 郁海	2'16"60	R. 6	京都府選手権
7.	瀬角 健太	2'16"63	H. 28	日本選手権
8.	平谷 源	2'18"01	H. 21	関西学生
9.	武本 航志	2'18"29	R. 7	関西学生
10.	田中 優一	2'18"33	H. 31	日本学生

●100M背泳ぎ

1.	塩川 裕也	55"77	R. 3	日本学生
2.	高 大輔	56"31	R. 5	関西学生
3.	三坂 一真	56"48	H. 30	日本学生
4.	山本 空	56"67	R. 7	関西学生 CS
5.	立花 槇次郎	56"91	H. 25	日本学生
6.	今別府 俊成	57"12	H. 21	関西学生
7.	多田 匠吾	57"15	H. 21	関西学生
8.	佐多 直浩	57"18	H. 30	関西学生
9.	福本 勝太	57"21	R. 3	関西学生春季室内
10.	林 隆太郎	57"29	H. 13	日本学生

●200M背泳ぎ

1.	塩川 裕也	2'00"53	R. 3	日本学生
2.	立花 槇次郎	2'01"17	H. 27	日本選手権
3.	高 大輔	2'02"57	R. 5	関西学生 CS
4.	藤田 紘希	2'02"85	R. 3	日本学生
5.	多田 匠吾	2'03"89	H. 21	関西学生
6.	田中 秀路	2'05"18	R. 7	関西学生 CS
7.	今別府 俊成	2'05"54	H. 24	関西学生
8.	田島 初	2'05"87	H. 23	兵庫県長水路
9.	三坂 一真	2'06"12	H. 31	日本選手権
10.	林 隆太郎	2'06"19	H. 12	日本選手権

●100Mバタフライ

1.	永井 悠介	53"87	R. 4	京都府選手権
2.	竹下 祥平	53"98	H. 25	日本学生
3.	好川 大雅	54"02	R. 4	関西学生 CS
4.	杉井 郁哉	54"16	R. 5	岡山県選手権
5.	森下 翔太	54"28	R. 3	関西学生春季
6.	河村 拓実	54"44	H. 21	日本学生
7.	甲谷 直希	54"67	H. 30	関西学生
8.	那須野 諭	54"69	H. 21	日本選手権
9.	植田 竜成	54"72	R. 4	兵庫県夏季公式
10.	田中 廉汰朗	54"91	R. 6	関西学生

●200Mバタフライ

1.	永井 悠介	2'00"44	R. 4	京都府選手権
2.	森芳 慎平	2'00"69	H. 26	ジャパンオープン
3.	田中 一路	2'01"10	R. 6	関西学生
4.	田中 廉汰朗	2'01"44	R. 6	関西学生
5.	河村 拓実	2'01"82	H. 21	日本選手権
6.	那須野 諭	2'02"30	H. 21	関西学生
7.	鵜飼 夏也人	2'02"41	H. 26	日本学生
8.	三辻 大四郎	2'02"45	H. 16	関西学生
9.	岡村 翼	2'02"53	H. 30	関西学生
10.	竹下 祥平	2'02"82	H. 25	日本学生

●200M個人メドレー

1.	出井 義也	2'03"56	H. 25	日本学生
2.	田中 一路	2'03"59	R. 5	関西学生 CS
3.	原 嘉一	2'04"39	H. 29	日本学生
4.	山本 一貴	2'05"20	H. 27	関西学生
5.	服部 季輝	2'05"52	H. 29	日本学生
6.	大平 理登	2'05"54	R. 7	中部・関西対抗
7.	前田 奨	2'05"68	H. 27	関西学生
8.	前家 空	2'05"76	H. 26	関西学生 CS
9.	森谷 郁海	2'06"04	R. 6	尼崎市民
10.	田中 秀路	2'06"45	R. 7	中部・関西対抗

●400M個人メドレー

1.	田中 一路	4'24"57	R. 6	関西学生 CS
2.	森芳 慎平	4'26"99	H. 25	大阪府選手権
3.	鵜飼 夏也人	4'28"11	H. 28	日本学生
4.	前田 奨	4'28"78	H. 27	日本学生
5.	鵜飼 建吾	4'29"52	H. 21	関西学生
6.	山本 一貴	4'29"78	H. 27	関西学生
7.	前家 空	4'30"93	H. 24	関西学生
8.	齊藤 瑛	4'30"95	R. 6	兵庫県選手権
9.	大谷 雄剛	4'32"65	R. 4	関西学生 CS
10.	小野 優	4'32"99	H. 25	関西学生 CS

●400Mメドレーリレー

1.	塩川裕也・平井佑典・好川大雅・森下翔太	3'40"48	R. 3	日本学生
2.	塩川裕也・平井佑典・大川航輝・平松聖隆	3'42"27	R. 2	日本学生
3.	高大輔・平井佑典・永井悠介・堀敬貴	3'42"47	R. 4	日本学生
4.	高大輔・平井佑典・好川大雅・三原慶悟	3'43"09	R. 4	関西学生 CS
5.	三坂一真・大谷洸・大川航輝・平松聖隆	3'43"95	H. 31	関西学生
6.	山本空・重塚笙・八坂康生・清水歩空	3'44"36	R. 7	関西学生
7.	立花慎次郎・和田真哉・竹下祥平・樋口拓夢	3'44"74	H. 25	日本学生
8.	立花慎次郎・瀬角健太・橘知毅・齊藤大己	3'44"86	H. 28	日本学生
8.	立花慎次郎・和田真哉・甲谷直希・齊藤大己	3'44"87	H. 27	関西学生
9.	高大輔・重塚笙・杉井郁哉・久世航大	3'44"87	R. 5	日本学生
10.	井上裕介・瀬角健太・甲谷直希・崎久保拓洋	3'45"16	H. 27	日本学生

●400Mフリーリレー

1.	三原慶悟・勝見駿佑・久世航大・森下翔太	3'22"82	R. 3	関西学生
2.	平松聖隆・佐多直浩・寺田弘剛・森下翔太	3'23"16	H. 31	日本学生
3.	平松聖隆・佐多直浩・三原慶悟・森下翔太	3'23"36	R. 2	日本学生
4.	清水歩空・堀敬貴・三原慶悟・久世航大	3'24"33	R. 4	関西学生
5.	西桶正倫・崎久保拓洋・樋口拓夢・森元秀	3'24"35	H. 26	日本学生
6.	平松聖隆・三坂一真・森下翔太・寺田弘剛	3'24"57	H. 31	関西学生 CS
7.	清水歩空・中谷志優・丸山碧斗・久世航大	3'24"65	R. 6	日本学生
8.	樋口拓夢・文野知弥・崎久保拓洋・中村豊	3'24"74	H. 24	日本学生
9.	森元秀・西桶正倫・崎久保拓洋・樋口拓夢	3'24"75	H. 26	関西学生
10.	崎久保拓洋・齊藤大己・山本一貴・西桶正倫	3'24"80	H. 27	関西学生

●800Mフリーリレー

1.	清水歩空・出羽晃也・田中一路・丸山碧斗	7'30"46	R.	6	関西学生 CS
2.	増田達哉・三原慶悟・森下翔太・高大輔	7'30"90	R.	3	関西学生
3.	増田達哉・清水歩空・堀敬貴・高大輔	7'31"02	R.	4	日本学生
4.	森下翔太・平松聖隆・富田圭人・寺田弘剛	7'31"23	H.	31	関西学生
5.	増田達哉・清水歩空・三原慶悟・高大輔	7'31"77	R.	4	関西学生
6.	森下翔太・平松聖隆・小林薫平・寺田弘剛	7'31"92	H.	31	関西学生 CS
7.	出羽晃也・田中秀路・中谷志優・清水歩空	7'32"11	R.	7	日本学生
8.	前家空・森芳慎平・北山拓人・長谷川大輔	7'32"21	H.	26	関西学生
9.	長谷川大輔・原嘉一・西村祐輝・寺田弘剛	7'32"43	H.	28	日本学生
10.	平松聖隆・富田圭人・寺田弘剛・原嘉一	7'32"69	H.	29	日本学生

【女子】

●50M自由形

1.	遠藤 奈々	26"25	H.	23	日本学生
2.	山本 麻利	26"28	H.	24	関西学生
3.	小林 真衣	26"50	H.	19	日本学生
4.	天野 百望	26"56	R.	3	関西学生 CS
5.	平原 雪子	27"08	H.	23	神戸市民
6.	坂本 奈緒子	27"45	H.	13	関西学生
7.	丑本 加子	27"88	H.	27	日本学生
8.	濱田 莉子	27"95	R.	4	大阪府選
9.	竹林 理子	27"96	H.	30	京都府選
10.	田中 清香	27"97	H.	13	関西学生

●100M自由形

1.	山本 麻利	57"46	H.	24	関西学生
2.	小林 真衣	57"83	H.	19	日本学生
3.	天野 百望	57"91	R.	4	日本学生
4.	遠藤 奈々	58"23	H.	23	日本学生
5.	平原 雪子	58"82	H.	22	神戸市民
6.	石垣 友美	59"67	H.	15	関西学生
7.	木村 友紀	59"97	H.	23	神戸市民
8.	山本 紗希	1'00"05	H.	30	日本学生
9.	小林 広果	1'00"20	H.	22	兵庫学生
10.	柴崎 愛子	1'00"44	H.	19	コナミオープン

●200M自由形

1.	柴崎 愛子	2'06"10	H. 19	コナミオープン
2.	石垣 友美	2'06"12	H. 14	日本選手権
3.	竹林 理子	2'06"26	H. 30	関西学生
4.	坂上 智美	2'06"67	H. 19	日本学生
5.	山本 麻利	2'06"87	H. 24	関西学生
6.	木村 友紀	2'07"62	H. 21	日本学生
7.	筈井 柚伽	2'08"96	H. 23	神戸市民
8.	小林 広果	2'08"99	H. 23	神戸市民
9.	濱田 莉子	2'09"16	R. 6	関西学生
10.	長井 もも香	2'09"22	H. 29	関西プレインカレ

●400M自由形

1.	柴崎 愛子	4'20"02	H. 18	日本選手権
2.	石垣 友美	4'25"89	H. 14	日本学生
3.	坂上 智美	4'26"90	H. 19	日本学生
4.	木村 友紀	4'27"85	H. 22	神戸市民
5.	竹林 理子	4'28"94	H. 30	関西学生
6.	長井 もも香	4'28"96	H. 26	日本学生
7.	高原 桜唯	4'34"71	R. 7	関西学生 CS
8.	河津 なつみ	4'38"15	H. 21	兵庫学生
9.	筈井 柚伽	4'41"37	H. 23	兵庫学生
10.	溝淵 真由	4'46"08	R. 3	関西学生

●800M 自由形

1.	柴崎 愛子	9'02"49	H. 18	関西学生
2.	長井 もも香	9'09"83	H. 27	関西学生
3.	竹林 理子	9'10"66	H. 30	兵庫県長水路
4.	木村 友紀	9'18"69	H. 22	神戸市民
5.	小林 広果	9'19"81	H. 22	神戸市民
6.	坂上 智美	9'20"47	H. 17	関西学生
7.	林 みのり	9'28"48	H. 30	兵庫県長水路
8.	高原 桜唯	9'28"50	R. 7	福岡県選
9.	藤原 絵美	9'45"19	H. 13	兵庫学生
10.	松永 真彩子	9'51"36	H. 31	兵庫県夏季公式

●100M平泳ぎ

1.	西田 早織	1'10"64	H. 21	関西学生
2.	平原 雪子	1'11"17	H. 22	千葉国体
3.	山下 來花	1'14"90	H. 29	関西学生
4.	嶋 ゆかり	1'15"06	H. 16	日本学生
5.	榎田 真由子	1'15"31	H. 7	関西学生
6.	山本 麻利	1'15"60	H. 25	神戸市民
7.	寺本 里織	1'17"07	H. 15	日本学生
8.	西田 美樹	1'17"08	H. 7	日本学生
9.	市原 なおみ	1'17"13	H. 8	関西学生
10.	金田 瑞穂	1'19"41	H. 7	関西学生

●200M平泳ぎ

1.	西田 早織	2'32"11	H. 21	日本学生
2.	平原 雪子	2'36"99	H. 23	関西学生
3.	山下 來花	2'39"78	H. 29	関西学生
4.	榎田 真由子	2'40"89	H. 4	日本学生
5.	西田 美樹	2'41"80	H. 7	関西学生
6.	寺本 里織	2'44"46	H. 15	関西学生
7.	奥山 琴未	2'44"85	H. 24	日本学生
8.	嶋 ゆかり	2'46"36	H. 16	日本学生
9.	市原 なおみ	2'48"03	H. 8	日本学生
10.	金田 瑞穂	2'50"55	H. 7	日本学生

●100M背泳ぎ

1.	池田 千容	1'02"87	H. 13	日本選手権
2.	池田 益千	1'03"27	H. 18	日本学生
3.	高岡 幸恵	1'05"19	H. 19	日本学生
4.	田部井 美里	1'05"25	H. 24	兵庫県選手権
5.	大和 友梨絵	1'06"88	H. 25	関西学生
6.	寺脇 佳子	1'07"26	H. 18	関西学生
7.	濱田 莉子	1'07"59	R. 5	関西学生 CS
8.	山城 夢芽	1'07"60	R. 5	関西学生
9.	神野 有香	1'08"92	H. 27	関西学生 CS
10.	内藤 好	1'10"66	H. 29	関西学生

●200M背泳ぎ

1.	池田 益千	2'15"11	H. 18	日本学生
2.	池田 千容	2'18"00	H. 13	日本学生
3.	高岡 幸恵	2'18"02	H. 19	日本選手権
4.	田部井 美里	2'20"47	H. 23	京都学生
5.	山城 夢芽	2'24"79	R. 4	和歌山県選手権
6.	濱田 莉子	2'25"18	R. 3	関西学生
7.	大和 友梨絵	2'25"74	H. 25	関西学生
8.	寺脇 佳子	2'25"88	H. 18	関西学生
9.	神野 有香	2'29"61	H. 27	大阪府選手権
10.	生田 彩	2'31"20	H. 31	関西学生 CS

●100Mバタフライ

1.	小林 真衣	1'00"59	H. 19	日本選手権
2.	渡瀬 夢花里	1'01"99	R. 7	関西選手権
3.	小林 広果	1'02"34	H. 25	関西学生
4.	太田 愛	1'02"61	H. 14	関西学生
5.	山本 紗希	1'02"96	H. 27	関西学生
6.	神野 舞	1'03"13	H. 22	関西学生
7.	筈井 柚伽	1'03"65	H. 23	神戸市民
8.	丑本 加子	1'04"14	H. 27	関西学生
9.	伊藤 かれん	1'04"29	H. 21	兵庫学生
10.	中田 亜希美	1'04"30	H. 15	関西学生

●200M バタフライ

1.	渡瀬 夢花里	2'14"98	R. 7	関西・中部対抗
2.	太田 愛	2'15"99	H. 15	関西学生
3.	神野 舞	2'17"62	H. 22	日本学生
4.	小林 広果	2'18"00	H. 23	関西学生
5.	伊藤 かれん	2'18"83	H. 21	関西学生
6.	山本 紗希	2'19"25	H. 27	日本学生
7.	永岡 里彩	2'20"49	H. 25	日本学生
8.	中田 亜希美	2'21"10	H. 15	関西学生
9.	柴崎 愛子	2'24"23	H. 18	神戸市民
10.	藤本 敦子	2'26"12	H. 11	関西学生

●200M 個人メドレー

1.	濱田 莉子	2'22"40	R. 6	関西学生 CS
2.	平原 雪子	2'22"55	H. 23	日本学生
3.	柴崎 愛子	2'23"34	H. 17	大阪府選
4.	山本 麻利	2'23"80	H. 23	関西学生
5.	永岡 里彩	2'24"83	H. 23	関西学生
6.	石垣 友美	2'27"39	H. 17	大阪府春季
7.	林 みのり	2'27"40	H. 31	関西学生
8.	山城 夢芽	2'28"20	R. 7	関西・中部対抗
9.	渡瀬 夢花里	2'28"53	R. 7	関西・中部対抗
10.	池田 千容	2'28"61	H. 13	三大戦

●400M 個人メドレー

1.	柴崎 愛子	5'01"93	H. 19	コナミオープン
2.	高原 桜唯	5'07"13	R. 7	関西学生
3.	濱田 莉子	5'08"00	R. 5	関西学生
4.	長井 もも香	5'12"23	H. 28	日本学生
5.	林 みのり	5'14"15	H. 31	関西学生 CS
6.	藤本 敦子	5'24"72	H. 8	関西学生
7.	田中 清香	5'25"58	H. 12	兵庫学生
8.	藤田 彩子	6'36"67	H. 4	関西学生
9.	藤森 裕子	7'01"29	H. 4	関西学生

●400M メドレーリレー

1.	田部井美里・平原雪子・小林広果・遠藤奈々	4'16"53	H. 23	日本学生
2.	田部井美里・平原雪子・神野舞・遠藤奈々	4'20"45	H. 22	日本学生
3.	高岡幸恵・西田早織・小林真衣・坂上智美	4'20"61	H. 19	関西学生
4.	田部井美里・西田早織・伊藤かれん・木村友紀	4'21"06	H. 21	関西学生
5.	池田千容・嶋ゆかり・小林真衣・柴崎愛子	4'21"70	H. 16	関西学生
6.	池田益千・西田早織・小林真衣・柴崎愛子	4'21"72	H. 18	関西学生
7.	田部井美里・山本麻利・小林広果・永岡里彩	4'22"11	H. 24	関西学生
8.	池田千容・寺本里織・太田愛・石垣友美	4'22"53	H. 14	関西学生
9.	大和友梨絵・山本麻利・小林広果・永岡里彩	4'23"43	H. 25	関西学生
10.	池田益千・嶋ゆかり・太田愛・小林真衣	4'24"04	H. 17	関西学生

●200M フリーリレー

1.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・山本麻利	1'46"46	H.	23	関西学生
2.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・田部井美里	1'49"73	H.	21	関西学生
3.	天野百望・濱田莉子・山城夢芽・渡瀬夢花里	1'49"98	R.	5	関西学生
4.	小林真衣・福島由美子・池田千容・石垣友美	1'50"32	H.	16	関西学生
5.	小林真衣・福島由美子・柴崎愛子・坂上智美	1'50"54	H.	18	関西学生
6.	中田亜希美・池田千容・太田愛・石垣友美	1'50"64	H.	14	関西学生
7.	小林真衣・坂上智美・寺脇佳子・西田早織	1'50"69	H.	19	関西学生
8.	太田愛・福島由美子・柴崎愛子・石垣友美	1'51"07	H.	15	関西学生
9.	小林真衣・福島由美子・柴崎愛子・石垣友美	1'51"11	H.	17	関西学生
10.	小林真衣・福島由美子・坂上智美・石垣友美	1'51"20	H.	17	日本学生

●400M フリーリレー

1.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・山本麻利	3'55"70	H.	23	関西学生
2.	遠藤奈々・平原雪子・木村友紀・小林広果	3'57"33	H.	22	日本学生
3.	山本麻利・小林広果・永岡里彩・田部井美里	3'57"56	H.	24	関西学生
4.	小林真衣・柴崎愛子・坂上智美・石垣友美	3'59"18	H.	17	関西学生
5.	山本麻利・小林広果・時枝美保・木村友紀	3'59"24	H.	23	日本学生
6.	天野百望・濱田莉子・山城夢芽・渡瀬夢花里	3'59"57	R.	4	関西学生
7.	山本麻利・小林広果・永岡里彩・神野有香	3'59"60	H.	25	関西学生
8.	小林真衣・柴崎愛子・坂上智美・福島由美子	4'00"04	H.	18	関西学生
9.	天野百望・濱田莉子・佐野仁美・渡瀬夢花里	4'00"55	R.	4	日本学生
10.	遠藤奈々・伊藤かれん・平原雪子・木村友紀	4'01"03	H.	21	関西学生

●800M フリーリレー

1.	山本麻利・小林広果・平原雪子・木村友紀	8'31"99	H.	23	日本学生
2.	木村友紀・小林広果・山本麻利・田部井美里	8'34"73	H.	22	関西学生
3.	山本麻利・小林広果・永岡里彩・田部井美里	8'35"17	H.	24	関西学生
4.	木村友紀・小林広果・田部井美里・山本麻利	8'36"51	H.	22	日本学生
5.	竹林理子・山本紗希・林みのり・丑本加子	8'37"82	H.	30	関西学生
6.	神野有香・永岡里彩・山本麻利・小林広果	8'38"36	H.	25	日本学生
7.	河津なつみ・木村友紀・田部井美里・遠藤奈々	8'43"17	H.	21	日本学生
8.	山本麻利・田部井美里・神野有香・永岡里彩	8'43"63	H.	24	兵庫学生
9.	濱田莉子・天野百望・佐野仁美・渡瀬夢花里	8'48"13	R.	4	関西学生
10.	永岡里彩・笹井柚伽・田部井美里・平原雪子	8'48"32	H.	23	兵庫学生

編集後記

『弦泳第39号』はいかがでしたでしょうか。読んでいただく皆様にとって見易く、読み易く、そして楽しんでいただける部誌になるよう心掛けて作成いたしました。

今年度は、私の所属する水球パートが12年ぶりに全国学生選手権に出場しました。全国という大舞台を経験し、部員一人一人が持てる力を最大限に発揮し、試合で活躍する先輩方や同期、後輩がとても印象に残りました。また昨年度から取り組んでいる水球パート、競泳パート共通の中学生対象の「水球教室」「競泳教室」を社会貢献活動の一環としてより一層力を入れて取り組んでいます。そのような取り組みの場面において、監督や主将、主務、外部の方々との協力や支援によって、水上競技部がより良い部となるようご指導いただきました。そのような中で、私自身が選手としてではなく何か部に貢献したいという思いから、この『弦泳』の編集に立候補させていただきました。取り組みの中で、今まで知らなかったOB・OGの皆様とのつながりや過去のご活躍などといったものを強く実感し、この編集をさせていただけて本当に良かったと思うことができました。

最後になりましたが、ご多忙中にも関わらず本誌発行のため執筆にご協力下さいました諸先生方、諸先輩方にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。また、今後とも我が水上競技部への一層の御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。皆様の益々のご健康、ご活躍、そしてご発展をお祈り申し上げます。

「弦泳第39号」編集者

三年生 宮田 夢大